臺灣日日新報
本日四頁

師團長始め遁走
敵十七師遂に潰亂狀態

【ビルマ前線○○基地にて中島、熊谷、南部、渡邊報道班員十八日發】我が包圍網中に陷ち斷末魔の喘ぎを續ける第十七師は我が猛攻によつて十七日朝遂に潰亂狀態に陷り、ティデイム附近の敵主力第六十三旅團は師團長レーシを始めサメロン、ウイリアム兩旅團長等部下とともにわれ先にと包圍網を脱出してインド領内に逃入を企圖し、ティデイム西北方のマニプール河下流に退路を求め同地區に[illegible]を打つて殺到してゐる、潰亂した敵に對し我が追撃はトンザン地區及びティデイム西方マニプール河畔の二ケ所においてこれを大きく捕捉し、トンザン地區においては小川、森本、稲田、宮内、[illegible]の各部隊、ティデイム西方渡河點附近においては末木、中谷の各部隊が航空部隊の協力下にインド國民軍と共に驀進中で第十七師團殲滅は最高潮に達してゐる

ケネデピーク陷落
皇軍ティデイムへ迫る

【緬印國境○○基地にて松田、有村陸軍報道班員十八日發】敵第十七師の本據ティデイムの前衞陣地ケネデピークの陣地は遂に陷ちた、わが精鋭部隊に依つて東、南、北の三方面より包圍、ケネデピークの敵は作戰以來わが軍の猛攻に戰意を喪失し、後方からの苛烈な[illegible]で頑強な抗戰を續けてゐたが十六日夜より突撃を開始したわが包圍部隊の前に脆くも潰え、十七日朝四時に至り正面からの○○部隊の決死的突撃に依り遂に潰滅これとなり、八千八百呎の高所よりわれ先にと敗走、わが攻撃部隊はこれを追撃してティデイムへと進撃を開始した、斯くて昨年十一月フォートホワイト占領後わが軍を阻んでゐたチン丘陵地帶唯一の要衝もここに皇軍の手中に歸しティデイムの敵本據の潰滅も今や目睫に迫つた

皇軍の優勢を敵側も認む

【リスボン十六日發同盟】ニューデリー來電＝東南アジア反樞軸軍は十六日の戰況公報においてフォート・ヘルツ地區における日本軍の優勢を認め次の通り發表した
一、ビルマ北部のフオート・ヘルツ地區において反樞軸軍はスプラブム附近に所在するピンサウを放棄するの已むなきに至つた
一、カバウ峽谷方面では日本軍は依然北進を續けてゐる

ラム溪谷の敵施設を爆撃

【リスボン十七日發同盟】メルボルン來電＝西南太平洋反樞軸軍司令部は十七日の戰況公報において日本航空部隊がニューギニア、ラム溪谷の反樞軸軍空輸基地施設並に陣地に爆撃を加へた旨發表した

敵側も我進撃發表

【リスボン十七日發同盟】東南アジア反樞軸軍司令部は中緬國境チン丘陵における日本軍の攻勢に依る進撃を認め、十七日戰況公報において
チン丘陵地區においてはティデイム北方及びカバウ峽谷の日本軍は前進を續行してゐる
旨發表した

敵船船を撃沈

【ビルマ○○基地十八日發同盟】十日午前アール港西方約百五十キロのベンガル灣洋上を六百噸級敵輸送船一隻航行中との報告に接し男鹿基地○○を進發した我が急降下爆撃隊は新鋭急降下爆撃機ビルマ號を操縦せる征家一夫准尉（廣島縣出身）を始め必殺の巨彈を命中せしめ瞬時にして撃沈した

來襲米五機撃墜破

【ビルマ○○基地十八日發同盟】十一日午前十時頃敵が○○飛行場に米戰闘機P38型八機が出現し來つたが、折柄哨戒中の我が新鋭戰闘機隊は直ちにこれを邀撃、壯烈な空中戰を展開、岡本大尉（愛媛縣）永島中尉（鹿兒島縣）加藤曹長はそれぞれ敵一機宛三機を撃墜するとともに他の二機に撃墜不能の損害を與へた

陸鷲シルチア襲ふ
空中戰で十九機を屠る

【ビルマ○○基地十八日發同盟】ビルマ方面陸軍航空部隊の精鋭は十一日大擧して敵インド東部アッサム州のシルチア西飛行場並に北飛行場を攻撃、敵空軍がビルマ反攻の前進基地と恃む同飛行場に一大痛撃を與へた、即ち同日未明わが重爆部隊の大編隊は[illegible]して南飛行場に殺到、滑走路並に飛行場施設に必中の巨彈を投下、八ケ所より大火災を生ぜしめ火焔天に沖する中を悠々と歸還した、これに引續き同日○○基地を勇躍進發したわが新鋭戰闘機隊は先づアラカン山上に邀撃せる敵戰闘機約三十機をもつてシルチア飛行場上空に殺到、邀撃せる敵戰闘機A36二機を一瞬にして血祭に擧げ、一歩も譲れぬ堂々の大空中戰を展開、十九機を撃墜（内不確實五）して歸還した、本戰闘において少年飛行兵出身石山鎌准伍長（靜岡縣出身）は壯烈な自爆を遂げた

我遮斷部隊の好餌
十七師の退路寸斷さる

【緬印國境前線○○にて松田報道班員發】末木、入江、中谷、稲田、小川、杉村の各部隊によつて退路を寸斷され、稍へ前衞陣地ケネデピークを○○、田村、磯、長谷川、柴田各部隊に三方より包圍されたトイトムの敵第十七師は斷末魔の苦悶を見せてわが包圍網內を右往左往し、一部は包圍網を突破しようとしてインド領内に逃走すべくトイトムに殺到、わが遮斷部隊の好餌となつて徹底的に殲滅される等ビルマ戰線の[illegible]を破られたレーシ第十七師團長以下は今やチン丘陵の放浪者としてその哀れな姿を皇軍の銃先に曝してゐる、一方末木部隊は十五日ティデイム方面より逸走して來た約二千の敵の自動車部隊を迎へて擊破四散せしめ敵百輛以上の戰果を擧げ、又ケネデピーク包圍部隊は十五日深夜より敵主陣地への攻撃を開始、○○部隊は敵の反撃を破碎しつつ正面○○村の○○高地を確保、側背より迂回した田村部隊も○村の地點に肉薄、敵が最後の防禦陣地と恃んだ同陣地の陷落も目睫に迫りつつある、かくて英印軍第十七師四十八、六十三、十四の三個旅團の運命は潰滅を待つのみとなつた

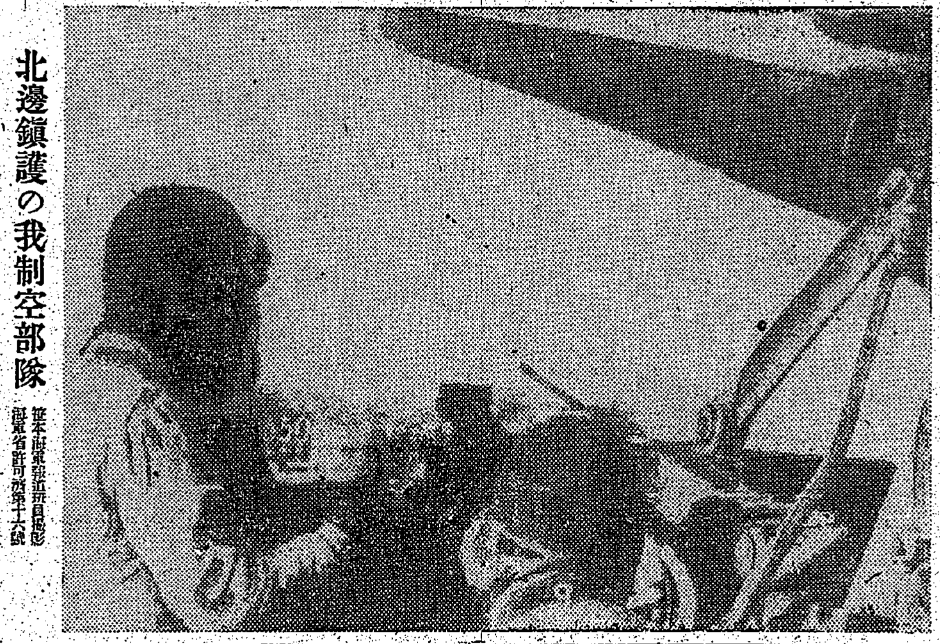
濠洲とカナダ 相互援助協定

【リスボン十七日發同盟】カンベラ來電＝濠洲は曩にニュージーランドと協力協定を締結したが、濠洲外相エヴァットは十七日下院においてカナダとの相互協定締結を發表次の通り言明した
濠洲カナダ兩國は今回相互援助協定を締結したが、濠洲は同協定に基きカナダから年額八千五百萬弗の物資の供給を受ける筈であるその主なるものは自動車トラック、電線、兵器、飛行機部分品、機械類、原料等である

【リスボン十六日發同盟】ニューデリー來電＝東南アジア反樞軸軍司令部は十五日の戰況公報においてビルマ戰線中部のティデイム及びカバウ地區において日本軍が新たに反樞軸軍陣地を攻撃した旨發表した

陸鷲衡陽襲ふ

【○○基地十八日發同盟】わが陸軍航空部隊は必死の反撃を續ける在支米空軍に對し先制攻撃の手を緩めず強力機を以て十八日拂曉敵前進基地衡陽に殺到、四次に亙る猛爆を加へ熾烈なる敵の地上砲火をものともせず飛行場附屬施設二ケ所を炎上一ケ所を爆破せしめ、敵の狼狽を尻目に全機悠々無事歸還した



北邊鎭護の我制空部隊
笹本海軍報道班員撮影 海軍省許可濟第十六號

日滿支連絡運輸
四月より實施 戰時規程を制定す

【東京發】運通省では日滿支三國相互間の交通運輸の重要性に鑑みこれが緊密協力につき關係運輸機關と協議を行つた結果、決戰非常措置に即應し緊急輸送確保のため日滿支連絡運輸について戰時規程を制定、來る四月一日より實施することとなつた、主なる改正事項は次の通りである
一、連絡運輸經路及び取扱驛を重點的に調整し重要なる連絡運送の確保と取扱の合理化を圖る
二、運輸上必要なる場合は運輸機關において旅客、手小荷物、貨物の連絡運送經路の指定をなし連絡經路に適應する如く旅送の區分を行ふ
三、陸運轉移貨物その他大量重要貨物の輸送能率向上を圖るため左の制度を設く
（一）貨物の容積七千六百噸又は容積百二十立方米までを一口として取扱ひ得るやう大口貨物運送制度を新設し從來三十噸までを一口とする不便を除き海陸連絡貨物等運送の圓滑を圖る
（二）（一）以外の場合內地と滿支間車扱一口の容積を六十立方米までに擴大す
（三）社線航路を介する託扱貨物につき連絡運送の利用を容易ならしめるため運賃料金の支拂方に新たに[illegible]、[illegible]、[illegible]又は通過拂、直拂の方法を設く
四、連絡運輸取扱の簡捷化とその適正を圖るため左の改善を行ふ
（一）下士官兵旅客運賃割引證一枚にて各運輸機關を通し割引の取扱をなす
（二）他の運輸機關に亘る定期乘車は旅客の責に歸すべからざる經路變更に限りその他は當該運輸機關所定による
（三）代金引換制度を廢止す
（四）三小荷物及び貨物の指圖の制度を改正す
（五）一口數個の小荷物扱を廢止し原則として一口一個とす
（六）貨物の滿期運送の取扱を廢止す
五、旅客輸送制限に關する措置及び輸送調整に即應する如く左の措置を行ふ
（一）往復旅客運賃割引の廢止
（二）旅行券旅客運賃割引の廢止
（三）團合旅客運賃割引の廢止
（四）學校職員生徒旅客運賃割引の廢止
（五）滿湖制限旅客の取扱及びその運賃割引の廢止
（六）經路乘車券取消手數料の改正
（七）手荷物取扱制限の强化

優秀船員表彰の要領

【東京發】運通省では去月二十九日の閣議において決定せる海上輸送力非常增强措置の實施方法の完璧を期するため三月一日より四月末までの二ケ月間を海上輸送力非常增强期間と定め非常增送に協力成績優良なる船舶乘組員一同に對し運通大臣の表彰狀並に獎勵金を交付し、また本期間を通して非常增送成績の特に顯著なる船舶乘組員全員に對しては總理大臣の表彰狀を授與することになりその要領を十七日左の如く發表した
◇海上輸送力非常增强期間における船員獎勵策實施要領
一、實施期間三月一日より四月末日で二ケ月間
一、非常增送に關する船員獎勵施策
（一）本計畫の趣旨を船員に徹底しこれが實與を期するための出先官廳の訪船勸說、船舶運營會及その構成員の訪船激勵並びに慰問金品の交付
（二）本期間中に非常增送に特段の寄與をなしたる船員に對する表彰狀の授與及船員獎勵金の支給
一、表彰狀の授與及船員獎勵金の支給方法
（一）運輸通信大臣の表彰狀 本期間中毎月の非常增送成績につき特に優秀なる船舶の乘組員一同に對しては運輸通信大臣の表彰狀を授與すると共に副賞として船員獎勵金を交付す本表彰狀を授與せられたる船舶は別に定むる表彰旗を昭和十九年度第一四半期中掲揚するものとす
（二）九號に定むる船員獎勵金の金額は左の通りとす

	獎勵金
七千噸以上	八〇〇圓
三千噸以上	六〇〇圓
一千噸以上	四〇〇圓
三百噸以上	三〇〇圓
三百噸未滿	二〇〇圓

（三）內閣總理大臣の表彰狀 本期間を通じて非常增送成績特に拔群なる船舶の乘組員一同に對しては本部において諸般の報告に基き其の成績を審查の上內閣總理大臣の表彰狀を授與す
一、獎勵委員會 非常增送成績を審查し運輸通信大臣の表彰狀を授與すべき船舶を決定するため船舶運營會支部及出先官廳在地に審查委員會を設く本委員會は原則として現行[illegible]委員會又は地方審查委員會を充用、同委員會に準據してこれを運營す

海運推進本部を設置

【東京發】運輸通信省では海上輸送の增强に萬全を期するため三月一日より四月末までの二ケ月間を海上輸送力非常增强期間と定め重要物資の非常增送を圖るが右推進のため部内に海運推進本部を設置するに決定、十七日[illegible]を發表した、本部長には[illegible]、[illegible]を以て委員、推進、班員、部員、[illegible]の各職員を置き[illegible]
一、[illegible]
一、[illegible]
一、船員及荷役[illegible]

日銀總裁に澁澤子
昇格

【東京發】結城日銀總裁は昨年以來健康を害してゐたが、十七日夕辭表を提出、依つて後任總裁には現日銀副總裁澁澤敬三氏を昇格せしめることとなり十八日の閣議で決定、上奏御裁可を仰ぎ同日午後三時內閣より次の如く發令した、後任副總裁は石渡藏相及び澁澤新總裁の間で銓衡を進め、近く決定發令を見る豫定である（寫眞は澁澤氏）

日本銀行副總裁 子爵 澁澤敬三
日本銀行總裁を仰付
依願日本銀行總裁を免ず 結城豐太郎

翼賛會事務總長に
小畑產報理事長を起用

【東京發】大政翼賛會事務總長は丸山鶴吉氏の宮城縣知事轉出後後藤副總裁が事務取扱ひとして來てゐたが、今回小畑產報理事長を起用することに決し、十八日左の如く發令した

事務總長を命ず 小畑忠良
事務總長事務取扱を解く 後藤文夫

尚小畑新事務總長は規定に依り自動的に翼壯副團長をも兼ねることとなり、同時に左の翼壯辭令も發令された

翼壯辭令（十八日）
大日本翼贊壯年團副團長を命ず 小畑忠良

委員初顏合せ
中央連絡本部

【東京發】政府、翼賛會並に翼政會の國民總蹶起運動に關する中央連絡部委員の初顏合は十八日午後三時より首相官邸に開催、安藤內相、後藤翼賛副總裁、前田翼政調務會長外小畑新翼賛會事務總長の各委員出席、政府の現戰局に鑑み三者緊密なる提携の下に戰意昂揚、生產增强、食糧確保、國土防衞[illegible]

副部長 青木助次
國民運動局勤勞部副部長に補す

翼賛會臨時に勤勞部を設置

【東京發】大政翼賛會では決戰下國民勤勞の至上要請に鑑み從來指導部の一部事項であつた勤勞運動部面を獨立せしめ、國民運動局內に臨時に勤勞部を設置することとなり、十八日職制を改正すると共にこれに伴ふ人事を發令した

部長 西川貞一
翼國民運動局勤勞部長に補す

"許し難い米英だ"
ショウ翁非難

【リスボン十五日發同盟】ロンドン來電＝アイルランドが生んだ文豪バーナード・ショウ翁はデーリ・スケッチ紙の記者と會見、エール國に對する米英兩國政府の脅迫について次の通り述べた
エール政府が中立政策を放棄するかどうかと言ふのか、エール政府が拒否したのは勿論完全に正當だ、エール國に對して制裁を加へる等と言ふのは全く噴飯に値する侮辱であり實際許し難い話だ、デ・ヴァレラ首相とは米國政府が參戰するずつと前にエール國の中立について話をしたが當時デ・ヴァレラ首相は何れの國にせよエール國を攻撃する場合には武器を採つて抗戰すると、はつきり言ひ切つた

滿國農地造成推進本部設置

【東京發】大東亞省では現下日滿食糧自給態勢推進の強力な一環たる滿洲國緊急農地造成計畫の具體的實現を強力に推進せしむるため今般省內に緊急農地造成推進本部を設置し關係各官廳及び諸團體との連絡、斡旋、資材、機器の手配及び輸送確保につき適時適切なる措置を講じ既定計畫の遂行に遺憾なきを期することとなつた、これは滿洲國における緊急農地造成推進本部に對應して設置されたものであり本機關の直接の狙ひは二ケ年十八萬ヘクタールの緊急農地造成が要請されてゐるに對し、これに要する資材機器の新規入手が困難なる狀態にあるのでこれが克服のため現有設備の活用、即ち遊休施設引揚げ及び農地開發營團等より借入れを行ひ滿洲國へ送り出しもつて滿洲國側の計畫に支障なからしめようとするものである、而して同部の構成は今吉滿洲事務局長を本部長とし副部長には[illegible]、部員には[illegible]關係部局十三名が外、參與[illegible]顧問四名からなるもので同本部の第一回會合は十八日大東亞次官室において竹內大東亞次官以下關係各官出席の下に行はれた

獨軍地雷捕捉の新戰術行ふ

【リスボン十六日發同盟】リスボンに達した情報に依ればアンチオ・ネツツノ橋頭堡地區におけるドイツ軍は初めて地雷捕捉の新戰術を用ひてゐるといはれロイター電はこれに關して
詳細は未だ判明しないが細索のついた引掛け雞條の物が地雷敷設地帶に射ち出され地雷にひつかけて引寄せ爆發せしめる戰術と思はれる
と述べてゐる

人事

▲中將一郎氏（[illegible]）[illegible]
▲鈴木利茂氏（[illegible]）上京のところ[illegible]
▲[illegible]氏（[illegible]）十八日來北（[illegible]）
▲[illegible]氏（[illegible]）十八日來北（鐵道ホテル）
▲井上雅二氏（[illegible]）來北中のところ歸京
▲[illegible]氏（[illegible]）十八日來北（鐵道ホテル）
▲[illegible]三氏（[illegible]）北中のところ上京
▲小[illegible]一氏（[illegible]）來北中のところ[illegible]
▲小谷[illegible]太郎氏（日本油脂[illegible]）來北（鐵道ホテル）

けふの官報

▲律令 [illegible] ▲告示 [illegible]
正▲訓令 昭和十八年度[illegible]
府特別會計歲入歲出科目[illegible]
示 臺球の販賣價格指定中[illegible]
內地產品[illegible]タイル ノ販賣價格指定、臺北都市計畫事業[illegible]道路等土地區劃整理設計[illegible]認可

職階性を確立
勤勞昂揚方策要綱決定

情報局發表

【東京發】政府は昨年來勞務調整の體制を急速整備に推進し、又重要事業法により企業の國家性を明確ならしめ、重要生產の責任制を確立し來つたが、更に決戰非常措置要綱の趣旨に呼應し工場事業場內部における勤勞體制の職階確立と勞務者の勤勞精神を一層と昂揚せしめるため過般來これが具體策につき審議を進め成案を得たので十八日の閣議に勤勞昂揚方策要綱を附議してこれを決定同日午後二時情報局から發表した、右要綱は一、勤勞態制の確立、二、勤勞者並に中堅職員及び中堅工員の再訓練と錬成、三、勤勞者の生活事項の强化及び四、要員基準の設定等による勞務使用の合理化を中心とし生產能率の向上と[illegible]に資するものの達成を積極的に徹底化し、[illegible]たる勤勞生活を勞務者に與へんとするにあり、これがため先づ第一に工場事業場に職階制を[illegible]工場生活の秩序を確保して[illegible]

情報局發表 △勤勞昂揚方策要綱

第一、方針 戰力緊急增强の要請に即應し且つ勤勞動員の範圍の擴大並に勤勞の國家性の强化に伴ひ工場、事業場における勤勞能率の飛躍的向上を圖り、活潑なる勤勞生活を確立するため勤勞精神の昂揚、勤勞態勢の確備及び教育訓練の徹底を中心として勤勞管理を刷新するものとす

第二、要領 一、勤勞統率指揮の確立、勤勞組織即生產組織たる本旨に基き企業における生產責任の衝に當るもの（概ね事業主又は社長に相當す）を頂點とする勤勞統率指揮を確立すること
これがため
イ、社長、所長、工場長、部課長以下各級職制者（以下統率者と稱す）の系列に依り統率系列を整備すること、この際各統率系列の各段階の規模はこれを統率管理を可能ならしむる如く適正ならしむるものとし[illegible]
ロ、統率系列の各段階の統率者の責任及[illegible]を明確ならしむるものとすること
ハ、各級統率者には[illegible]の部下の信頼を受けこれを統率し得べき[illegible]をなし、それぞれ部下全員に對する職能上の諸般の指揮監督を綜合的に所掌すると共に部下全員に對する生活指導上の任務を協力に擔當せしむるものとすること、特に中堅統率者は率先垂範部下の生產を現地に指導し得るが如き實力を有するものたるべきこと
ニ、統率の要諦は勤勞の國家性に對する透徹せる認識の下に部下全員に對する各級統率者の擔當する責任に照應する明確適切なる命令と適正なる賞罰とに依る嚴正なる規律の下に全員の長所を活かし、且つその意思を暢達せしめもつて各員の勤勞意欲を極度に昂揚せしむる如くすると共に一面上下團結融和の理念に依り部下全員の生活を[illegible]と一貫せしめ、これを活潑明朗ならしむるにあること
ホ、勤勞者につき一定基準に從ひ職階制を設くること、この場合[illegible]の方法をも考慮すること
二、勤勞事務機構の整備
（一）勤勞一般に關する事務を司掌するための[illegible]なる機關を生產責任の衝に當るものの下に別に整備すること
（二）勤勞管理の一般的企畫及考查並に勤勞者の充足、養成、訓練、配置、衣食住生活及福祉に關する一般的事務は職員及工員を通じ勤勞事務機關に一元化すること
（三）學徒及女子に關する責任の擔當者をおくこと
【參考】（一）企業の事務處理及研究などの組織は勤勞統率組織を强化する趣旨の下にこれを定め、兩者の關係は實際に即しこれを調整すること（二）及（一）の實施は指導に依りて原則とするも必要に應じ命令をもつてこれが實施の確保を圖ること
三、勤勞者の養成及訓練の强化
（一）勤勞者の養成及訓練は職員及工員を通じ一層これを强化するものとし、特に統率者並に中堅職員及中堅工員に重點をおくこと、これがため
（イ）政府において國營施設を[illegible]
（ロ）各企業または各統制團體[illegible]
（二）中等學校卒業者などに對しては特にこれを中堅幹部たらしむるため短期特別教育を行ふこと
（三）青少年に對しては特にその指導を徹底し、技能の向上を圖ると共に嚴格なる規律秩序の確立を圖ること
（四）女子についてはその特性を發揮し、特別の教育指導の施設並びに指導を講ずること
（五）學徒については勤勞教育の實態に即應する如く特に教育上並びに軍事訓練上の要請について配慮すること
（六）[illegible]その他に對する入所前の訓練を更に强化するため國家的訓練施設の擴充整備を圖ること
四、勤勞者の賃金及勤勞者の勤務能率の良否につき[illegible]なる考査をなし、賃金給與を[illegible]するものとし、特に各統率者につきその[illegible]を圖ること、これがため
イ、各企業において勤勞者賃金規定及び勤勞賞罰規定を作らしめ考查規定の基準を確立すること
ロ、[illegible]に關して[illegible]
五、賞罰基準の設定等勤勞配置の適正
（一）生產計畫に應じ各部署の要員基準を明らかにし、勞力の節約並びに遊休勞力の絶無を圖ると共に生產計畫その他に[illegible]
六、勤勞者の生活環境の整備强化
一、勤勞者の具體的生活問題の處理につき生活相談施設を設けし、勤勞事務機關をしてこれを取扱はしむること
二、企業は努めて勤勞者がその私生活に煩はさるることなく職場に邁進し得る如くあらゆる創意工夫を凝らすべきものとすること
三、寄宿舍に居住する勤勞者に對しては寄宿舍が起居生活の道場たると共に勤勞力培養の一大源泉をなすの本旨に鑑み[illegible]
七、勤勞衞生の刷新
一、勤勞衞生は勤勞者の健康保全及び勤勞力培養强化に重點を置き勤勞者自身自己の健康保持に留意せしむると共に生產責任の衝に當るものは勤勞衞生の責任者としてその措置に萬全を期する[illegible]
[illegible]

三月號 七十錢
☆撃ちてし止まむ☆
改造
社告
今般「改造」は「時局雜誌」に統合し、「必勝體制」の强化に依る聖戰完遂への時局指導に任じ、併せて大東亞の思想的・文化的總結集への大理想顯現に寄與せん決意を以て、强力なる時局指導誌「改造」として四月號より新發足いたします。四月七日發賣。
▼軍需會社と國體護持…西谷彌兵衞
▼四十年戰爭…櫻井忠溫
▼疎開と「不燃都市」の建設…田邊平學
▼强きもの悲しきもの美しきもの…火野葦平
▼伊能忠敬…杉靖三郎
▼北見の軍人援護…大內直通
決戰生活論…蜷川虎三
ニューギニア學術探檢（座談會）
小說 春色…上田廣
大東亞宣言の眞義（討議）

三月號
主婦之友
必ず御回讀を
必勝の生產戰 遠藤中將
☆日本精神講座 齋藤瀏
日本人と歐米人の根本的な差異を詳說
▲隣組防空陣の弱點を衝く
▲空襲下の出產と育兒
◎空襲と瓦斯・空襲下の[illegible]
家庭も戰力！「主婦之友」は家庭を明るく、强く、はりきつて戰ふために家庭經營の[illegible]を行つてゐます。家庭の戰力の增强のために、この際、[illegible]「主婦之友」を[illegible]ことは斷然止めて、隣組や職場で一人でも多くの方に御回讀ください。

農學博士 谷川英一著 三月上旬發賣
理論 漁獲物處理
A5判404頁 定價（稅込）6.78
本書は簡單且つ科學的に漁獲物處理の全般を指摘し得べく其處理法を適切簡明にし、その設計、理論及び技術等をも平易簡明に解說してゐる。經濟方面の好學者、水產技術者、又は水產學校生徒の各々が漁獲物處理を全面的に理解し得る好參考書と謂へやう。
梶原政治著 三月中旬發賣
マグネサイトと其製品
A5判368頁 定價（稅込）6.23
本書は世界に於けるマグネサイトの主な產出地の概況とマグネサイトを多少でも使用する製品を網羅せるもので、その用途、品質、製法等に亙り極めて詳細に解明してゐる。
丸善株式會社

特輯 東亞の經濟動態
日本評論 三月號 定價七十錢
座談會 陸軍を語る 尾佐竹猛・松下芳男・大場彌平・上司小劍
英靈の書 棚橋一順
小說 夕日…川端康成
[illegible]
東京市[illegible]日本評論社

社説
本島貯蓄目標と島民所得

本年度本島貯蓄目標額六千萬圓は、島民の努力により達成されんとして居るが、年度移りを前にして過去一年を顧みると、その過程は必ずしも坦々たる道を歩むやうなものでは無かつた。最初は[illegible]の如くあつても中だるみを來し、後半に至つては指導者の熱心な督勵により「辛うじて」と迄は行かなくても「漸く」達成せんとして居るのが偽らざる現狀と云はねばならないであらう。

顧つて、五億五千萬圓となる次年度目標を達成するには、容易ならぬ努力を要すると見なければならないが、我が臺灣島民の總所得からこの五億五千萬圓は決して過大なるものでは無くて、我國全體の國民所得に對する貯蓄目標から見れば、寧ろ遙かに低額であるのを知り得る。

◇

十九年度國家資金計畫の中、國民總所得六百億圓に對す貯蓄目標三百六十億圓は六割に當る。故に、我が臺灣の島民總所得に對する貯蓄目標も亦同じく六割とし、目標額五億五千萬圓から逆算して總所得を算出すると、九億一千萬圓程になるが、現下島民の總所得は果してこの程度のに止まるものであらうか。

政府が國民總所得を推算して國家資金計畫を定めたのと同じく、本島の貯蓄目標を定めるには、本島民の總所得が基準とならねばならないが、如上目標額から逆算した九億足らずのものが、その總所得かといふと決して左にあらず、[illegible]により以上のものに上るべきことが推察せられる。

即ち、本島の經濟力は全國の三十七分の一乃至三十八分の一と云はれるが、この經濟力とは素より財産では無く生產力を意味する。而して生產力即ち所得を生み出すものであるから、大體之を所得の基準と見て、六百億圓の三十七分の一は十六億圓強となり、本島島民の總所得は大體この程度に抑へらるべきものだと思ふ。

果して然らば、十六億圓の六割は九億六千萬圓であり、之が直に貯蓄目標とならねばならないのに、五億五千萬圓即ち三割四分強のものしか割當られて居らぬのは、寧ろ少きに失するものであつて、之を過大なりといふことは出來ない。

◇

唯茲に、臺灣の經濟力を全國の三十七分の一乃至三十八分の一と見るのが、妥當であるか否かの問題が殘る。併し、工業生產は未だ[illegible]全國的水準に達して居らないであらうが、[illegible]生產は全國的に卓越して居ると見ねばなるまい。勿論、その形態に於ては[illegible]の域を脱して居らないが、臺灣一戸當りの耕地面積並に土地利用度の高いことは之を[illegible]つて餘りあり、[illegible]工業を通じて大體この程度の經濟力を有つて居ると見るのは無理の無いところであらう。

要するに、[illegible]目標は寧ろ少きに失するといふ[illegible]が成り立ち得るが、若しその少きに失する目標をさへ達成することが出來なかつたならば、[illegible]、本島内には[illegible]民の[illegible]資金がそれだけダブついて、[illegible]的インフレに[illegible]る可能性さへ[illegible]られるのである。

國動態勢の劃期的强化
勞務調整令を改正
徴用行政措置近く公布

【東京電話】政府は本年に於ける國民勤勞の計畫的運用を徹底すると共に可及的速に國民勤勞動員の擴充强化を圖り、需方就勞要員の確保並に轉作能率、重要鑛工業及び運輸交通に於ける急激に増大する勞務の需要、更に[illegible]勞務要員の確保等により勞務動員態勢の强化を期す可く準備を進めて居るが、基本法令改正に關する折衝の爲め上京中の森部鑛工局長より國民徴用制度施行に關する法制の審議も大體終了した旨の入電があり、愈々本島に於ても[illegible]法令とも言ふ可き特例を設けることなしに徴用令を適用せしめると同時の效果を擧ぐ可き行政措置の根據を成す府令を近く公布することとなつた。右府令公布と共に機構的措置も講ぜられることが考へられるが、可及的速に府議決定をみるものとみられて居る。即ち現在本島に施行されて居る勞務調整令を更に一段と强化し勞務の供出により徴用への飛躍を行ふと共に女子就勞の可能なる職種へ男子に代替せしめる外、[illegible]の改革、[illegible]協力令の設置、日傭勞務者の動員操作の一元化、賃金及び手間賃の統制强化等による國民動員態勢の飛躍的强化の外、要徴用者態勢の徹底强化等による國民動員態勢の[illegible]立が期せられるのである、右の内要徴用者態勢の强化は先行して十七日府議決定され、直ちに實行に移されることとなり、女子就勞者に就いての調査も既に完了、十四歳以上二十六歳未滿の未婚者中の遊休者九萬人（都市）全部を就勞せしめる[illegible]の適正職種がないまでも、就勞可能なる職種に能ふる限り女子を轉向ける爲め之が受入態勢の完備を急ぐこととなつて居る

電力

臨時制限强化を解除
新に非常規正措置
内地

【東京電話】電力需給調整では新規工業を中心とする重要産業に對する電力供給を確保しつつ冬季渇水期を乘切るため去る二月十八日より一箇月間の豫定を以て本州一圓に亙り第三種需要「住宅用及營業用電燈電力」の消費規正を三割方臨時强化すると共に二月五日非常措置として工業用電力（第一種、第二種需要）に對する第六段規正を實施する事を豫定したが「電力非常時に一般國民の協力を要請する」全國民の眞劍なる努力によつて第六段規正を實施するに至らずして渇水期切拔けに成功し第三種需要に對する臨時制限强化は一應豫定通り十七日を以て解除する事となり、右の消費規正に關する告示の一部改正を十八日より全國的に實施する、改正要點並に今後の消費規正は左の通りであるが、今後は右による常時規正の外非常規正の措置を設け異常渇水時或は空襲その他により電力供給力が臨時に低減した場合には全國的、或は地方的に一定期間を限り臨時制限强化を行ふ事となつた

一、營業用電燈用類の消費限度については新たに「イ」「ロ」に分ち旅館店舗等を加ふべき部類「ロ」を事務所銀行等「イ」と區別しての消費限度を一燈につき三キロワット時までとし從來より一キロワット時低減した事と、飲食店、待合等營業用電燈の消費限度は据置いたがその中から料理屋、待合等を削除した

二、住宅用電熱器の最高消費限度は從來一ケ月百二十キロワット時であつたのを六十キロワット時に半減し營業用電熱器についても新たに最高消費限度（百五十キロワット（時））を設けた事

△消費限度

電燈用電力、定額電燈、百六十燭を越ゆるものは告示公布の日における契約容量、從量燈、住宅用、十燭以下の場合は月二十キロワット時超過一燈につき〇・五キロワット時を加ふ、但し最高五十キロワット時、營業用「甲類」イ、一燈一ケ月四キロワット時、ロ、一燈一ケ月三キロワット時乙類一燈一ケ月二・五キロワット時

電熱用電力、住宅用、一キロワットにつき一箇月三十キロワット時、但し最高六十キロワット時、營業用甲類及乙類一キロワットにつき一箇月三十キロワット時但し最高百五十キロワット時

電動機その他電力裝置

住宅用一キロワットにつき一箇月四十キロワット時、營業用甲類一キロワットにつき一箇月七十キロワット時、乙類一キロワットにつき一箇月四十キロワット時

綜合電力、營業用甲類一キロワットにつき一箇月七十キロワット時、乙類一キロワットにつき一箇月四十キロワット時

節電協力に感謝
鹽原電力局長語る

【東京電話】住宅用、營業用電燈電力に對する消費規正の緩和に際し鹽原電力局長は左の如く語つた

去る二月十八日以來一ケ月間第三種需要に對する電力消費規正の臨時强化を施行したが、一般國民各位の眞摯な努力に依つて第六段の工業用電力に對する第六段規正を實施するに至らずして渇水期切拔けに成功したことは同慶に堪へぬところである、勿論未だ水力の增加は十分とは言へないが一應豫定通り十七日限り臨時制限强化を解除することとなつた、これで一般國民の心を明るくして貰へる譯だが航空機の增産をはじめすべての生產增强には今後尨大な電力を必要とするから今後豐水期において一時電力の供給に餘裕が出來たと言つても電力使用の合理化や節電に對する心構へは決して忘れぬ樣にして戴きたい、特に四―六月の豐水期には天惠の水力に依る電力を十分に活用して生產增强に邁進して戴きたい、要は最少の電力で最大の生產を擧げ浪費を省きすべての電力を戰力化して生產の劃期的增强に資したいと思ふ

魚類の長期保藏等
水產物非常對策決る
都市への配給量增加

府水產課では決戰下の[illegible]に基く水產業の基本方針を愼重研究中のところこの程大要次の如く決定した、即ち戰時生活の[illegible]により水產食糧配給の改善强化を急速に圖ると共に大都市に對しては魚類の配給量を增加時に十歳以上十八歳以下の[illegible]少年に對しては魚類の[illegible]、又[illegible]魚類を原料とする混合魚粉を[illegible]として[illegible]、之は主として[illegible]の生產二割五分を當て[illegible]、又[illegible]魚は約三割を[illegible]して長期保藏に適せしめ配給の[illegible]を期することとなつた、然し府水產試驗所に於て試驗中であり、之が實施への配給方法は近く文教局と打合せの上決定するが[illegible]基本方針に基いて決定する、尚[illegible]の設立に就ては近く[illegible]水產統制配給會社の設立命令が發せられ同時に設立委員の任命を行つた上本格的に設立準備が進められる筈である

重要施策の運營に
＝本島の財政措置萬全＝

本島產業經濟が進行の中樞機關として新時代の使命を帶びて決戰下に於ける重要施策の[illegible]に協力を[illegible]する[illegible]、[illegible]及[illegible]統制會社（假稱）は既に設立又は設立され（[illegible]中）[illegible]、[illegible]では右等國策代行機關の[illegible]を[illegible]として[illegible]及石炭統制會社に[illegible]保證を[illegible]し、[illegible]を補塡する爲め十九年度に於て豫算外國庫の負擔となるべき契約を結び、戰時經濟の決戰的運營に萬全を期し決戰態勢强化方策の實施に[illegible]した

（イ）臺灣產業金庫

資本金　五百萬圓

政府　二百萬圓

民間　三百萬圓

債券發行限度　拂込資本金額の十五倍

保證する債券、額面六千萬圓

（ロ）臺灣[illegible]株式會社

資本金　六百萬圓

政府　五百萬圓

民間　百萬圓

債券發行限度　拂込資本金額の十倍

保證する債券、額面六千萬圓

（ハ）臺灣食糧營團

資本金　八百萬圓

政府　四百萬圓

民間　四百萬圓

債券發行限度　拂込資本金額の十倍

保證する債券、額面三千萬圓

（ニ）臺灣住宅營團

資本金　三百萬圓

（政府出資）

債券發行限度　拂込資本金額の五倍

保證する債券（政府の保證なし）

（ホ）臺灣石炭統制會社

一、[illegible]

資本金　一千萬圓

政府　五百萬圓

民間　五百萬圓

債券發行限度　拂込資本金額の五倍

保證する債券、額面五千萬圓

二、政府の[illegible]の損失補償

（イ）臺灣[illegible]會社　限度額三千六百萬圓

（ロ）臺灣石炭統制會社　限度額一千萬圓

[illegible]の區分は左の如し

甲類イ

一、事務所、營業所、銀行その他これに類するもの

二、旅館、下宿、アパート、寄宿舍その他これに類するもの

三、理髮店、[illegible]、公衆浴場その他これに類するもの

四、映畫館、演劇場、[illegible]

甲類ロ

一、商店、百貨店その他これに類するもの

二、[illegible]店、[illegible]店、[illegible]店、[illegible]店その他これに類するもの

三、[illegible]、[illegible]、[illegible]その他これに類するもの

乙類、飲食店、待合、[illegible]、その他これに類するもの

新組織の纖維製品會社
營團的機能發揮を切望

[illegible]纖維製品配給統制會社は近く政府よりの統制會社令に基く統制會社設立命令に依り根本的に改組される筈である、[illegible]に於て同品の[illegible]たる同會社の[illegible]に伴ひ代行人制度の廢止並に[illegible]に於ける纖維製品配給會社の[illegible]化が不可避的に要請される、[illegible]生活の安定上同品の供給確保は緊要の要務とされ、從來の纖維製品は殆ど内地に依存して來たので[illegible]近く[illegible]の制約に依り同品の[illegible]は著しく困難を來し[illegible]門[illegible]に[illegible]が[illegible]る現狀である、[illegible]今日本島に於て衣料の自給自足の必要性の確立が[illegible]の急務であるが、[illegible]同品の一元的輸入並に[illegible]なる合理的配給を圖るのみならず[illegible]生産加工の部門に[illegible]一歩進んで[illegible]大いに研究される[illegible]内容共[illegible]住宅營團の創設に際しては[illegible]が[illegible]資金[illegible]が大いに期待されるわけである、[illegible]衣食住に[illegible]する國民生活の安定[illegible]生產加工部面に於ける決戰的活動がされるので[illegible]同會社の創立が各方面より[illegible]されるものには[illegible]原材料が[illegible]まで强力なる統制を[illegible]營團的機能を[illegible]新會社の[illegible]的機能發揮が切望されてゐる

カーボン需給對策打合

府鑛務課では十八日午前十時より臺北公會堂に於てカーボンブラックの需給に關する打合會を開催、[illegible]山田石油課長、天然瓦斯研究所[illegible]小倉技師並に工業課、物動課[illegible]係官出席して昭和十九年度に於けるカーボンブラックの需給[illegible]に付き種々協議の後正午散會した

臺北商議總會

臺北商工會議所では十八日午前十一時半から臺北鐵道ホテルに於て第二十八回總會を開催、附議事項十九年四月五日の收支豫算及び選擧規程改正に關する件を原案通り可決、正午終了したが、右に先だち役員會を開き附議事項につき協議を遂げた

東西時事

獨米の空中戰術較べ

【[illegible]】歐洲戰線に於ける空中戰は最近では專ら米空軍と獨空軍との一大決戰の形をとりつつあるが、それは將に盾と矛との決戰であると共に戰術と新戰術、新兵器と新兵器との對決になる決戰となつて來てゐる、昨日の盾を以てしては最早や今日の矛は防ぎ得ず、今日の戰術、今日の兵器を以てしては明日の萬全に備へ得ない[illegible]にあるから[illegible]の[illegible]が[illegible]した[illegible]の恐しさは實に[illegible]にある、わが[illegible]にとつても亦至大の關心事たるを免れない、以下外電が傳へる歐洲空中戰最近の特徴的傾向を二、三摘記して參考に供しよう

一、ドイツ空軍の米空軍はその損害率の餘りに高きに刺戟されて最近では「空の機動陣地」といふべき新戰術を編み出したやうである、それは多量の爆弾を抱へた超重爆を中心にその外側を護衛戰闘機によつて[illegible]し、[illegible]を[illegible]すると同時にその[illegible]の[illegible]に多數の强力火器で滿身に武裝を施したた快速重爆がくると囲めて敵[illegible]の出合ひたんの一[illegible]間となるため若し一隊で射止め得ない場合、敵はそのまま依然として目的地に突進を續ける事になる。それで[illegible]目的物目がけて邁進するのである、迎撃機は護衛の[illegible]に阻まれるだけでなしに快速大型機の重火器に妨げられて目的を狙ふ事は容易に近づけないといふ事である

二、獨空軍は從來空中戰を手段として考へてか敵重爆を後方から追尾して攻撃する方法を一擲して最近では專ら[illegible]正面からの「一[illegible]作戰」を採つてゐるといはれる、一[illegible]作戰とは敵空[illegible]部隊に對してこれを眞正面から迎へ擊つのであるがこの戰術を採る時には役から役へと[illegible]の如く[illegible]となる、從つてこの[illegible]戰術では[illegible]として目的地[illegible]を[illegible]て敵を[illegible]中に射止めるまで續く「一[illegible]作戰用[illegible]」を[illegible]出し必要があり非常に多數の[illegible]の補給が必要るわけだ、獨空軍が敵でこの戰術を採用し始めた事はこれに十分な[illegible]機の數を確保してゐる事を證明するものであり最近米空軍の損害が極めて大きいものもこの新戰術のためではないかと思はれる

末端配給對策に萬全
商報本部新年度活動要領決る

【東京電話】商業報國會中央本部では十六日[illegible]を通じて左の如く昭和十九年度活動方針を決定各都道府縣本部に指示した

昭和十九年度活動要領

活動目標

（一）末端配給對策の確立

配給機構の公的性格を明確にすると共に業者の報國精神を一層昂揚せしめ配給、消費面に亙る決戰態勢の確立を急務とする、これがためには

（イ）地域配給制の確立並にこれに伴ふ配給機構の地區の設定

（ロ）町内會隣組等消費者組織との連繫强化

（ハ）綜合配給制に依る配給消費の合理化並び消費者の勞力時間の節減

（ニ）共同配給の實施に依る配給能率化並に店舗配置の適正化

（ホ）配給共同責任感の昂揚徹底

（ヘ）統制組合、施設組合等に依る企業の副業强化、配給方法の改善を[illegible]なる實踐を進めて[illegible]、共同配送の實施等を當面の重要目標とし決戰配給完遂に强力なる實踐運動を展開する

（二）闇取引の徹底絶滅

全面的國民運動を强力に展開すると共に商報運動面においては末端組織の指導を一段と强化し五人組を中心とする一面企業整備、末端業者の決戰道義昂揚を主眼とする配給態勢と並行して配給指導者の資質向上、企業整備の强化等に依り

（三）企業整備と轉廢業指導（略）

（四）勤勞報國活動の積極化

商業報國會の一段の積極化を目途として出勞上の諸障碍を排除すると共に隊員數の擴大、隊員素質の向上を圖る爲全國的動員組織の整備强化を徹底的に實施し更に指導者の養成、挺身隊並に[illegible]隊の施策を推進せしむ、而して[illegible]等並に留守宅の援護の萬全を期すると共に中央、地方援護機關の設置に必要なる努力を加ふ

（五）空襲時の配給挺身隊活動

空襲必至の現時勢下においては公共的配給挺身隊の組織並に訓練强化は愈々緊切なるに鑑み全國重要都市における隊組織を一層强力ならしめ官公各方面との緊密なる連絡の下に常時實戰的訓練を實施し以て空襲下における萬全なる機能發揮に遺憾なきを期する如く指導を徹底化す

（六）疏開都市並に新興工業都市の配給對策

疏開都市並に新興工業都市においては人口移動甚だしきを以てこれに對應する配給態勢の完璧を期し店舗配置を適正ならしむるための指導を行ふと共に新興都市においては綜合共同配給所の設置を促進しその育成を圖る

（七）商業婦人に對する指導錬成强化

商業婦人に對する商報精神の徹底昂揚を期するための指導錬成を强化し特に婦人部會の活動を旺盛ならしむると共に婦人推進隊の結成を[illegible]

（八）統制組合の育成强化（略）

（九）決戰生活の徹底

決戰生活の完遂、闇取引の絶滅は業者の徹底せる決戰生活實踐を基調として具現されるに鑑みこれが强力指導を實施すると共に特に貯蓄報國に邁進する

運動推進方策

一、推進隊活動の高度展開（略）

二、地區別指導の强化、商報活動の法的統一並にその立場を圖るため地方行政協議會の地區を以てする商報地區會議の運營を强化すると共に中央地方の緊密一體化に資するため地區商報會議指導者會議を中央に招集以て運動の努力推進なる現地展開を容易ならしむ

三、組織對象の擴充と組織活動の强化、商業報國會改正方針に從ひ全商業者をその組織對象とするを以てこの際商業者と看做せる商工業組合員、商事會社並にその從業員等をも加入せしむる如く組織活動を一段と强化する

四、關係團體との提携强化（略）

豫算三萬九千餘圓
海の寶庫へ挑む臺東廳

【臺東】時局下水產報國の大旆の下に挑んで必勝食糧の戰力に邁進して[illegible]を續ける臺東廳水產會では[illegible]重大なる決戰第三年に突入した今年こそは廳下漁業の一大振興を圖る爲、十九年度には緊要なる施設費として總額三萬九千八百圓に上る尨大な豫算を以て漁業の飛躍的振興に努力を[illegible]する[illegible]の[illegible]を[illegible]に[illegible]、[illegible]の發展を期する[illegible]は[illegible]の[illegible]、[illegible]加工[illegible]地[illegible]改良、養魚池[illegible]並に[illegible]池[illegible]に[illegible]する一面に於て既設の養魚指導池に[illegible]その他魚介類を養成、稚魚の配布をなし現在廳下に放置される池沼の利用增産に努める外、會員相互の福利增進に[illegible]工所及船具[illegible]の[illegible]を[illegible]し、漁業組合、船主[illegible]會を[illegible]する等[illegible]決戰水產の[illegible]の確保に萬全を期するものである

今後の税制改正

今回の增税案は增收額が平年度二十五億七千六百萬圓といふ未曾有の巨額に上るに拘はらず、それが單に税率の引上げのみによつて實行され、現行租税制度については何等著しい改革を加へてゐない所に大きな特色がある

◇…現行租税制度は昭和十五年の中央地方を通ずる税制改革によつて生れたものであるが、税制改革以來今回の增税を加へると既に四回に亙つて增税が行はれ、その增税額は五十億圓以上に達してゐる、そしてこのやうな巨額の增徵が行はれたにも拘はらず、增收は專ら税率の引上げによつて行はれ新税として僅に[illegible]税、[illegible]税、[illegible]瓦斯税および[illegible]行爲税の四税が設けられたに止まり、根本的な税制改正には手を觸れずして今日に至つたのである

◇…ところが度次の税率引上げによつて現行租税制度の下では今後巨額の增徵を行ふ餘地は著しく狹められるに至つた、他方、大東亞戰爭以來、[illegible]の[illegible]に伴つて國民所得層に[illegible]な變化が生じ、現行税制の下においては税負擔に公平を缺き、課税の技術も次第に困難となつてきてゐる

◇…そこで今議會においても增税案を通じて右の如き税制の變化が指摘され、現行税制に根本的改革を加ふべきことが要望された、そして賀屋藏相も、税制調査會の設置につき考慮する旨を言明したので、今後税制調査會の設置とともに、現行税制の根本的檢討が期待されるに至つた、今後[illegible]の[illegible]とすれば、恐らく[illegible]および[illegible]の[illegible]と[illegible]を[illegible]せて[illegible]が行はれるものと推測し、また[illegible]土地[illegible]の[illegible]が[illegible]の[illegible]するものと[illegible]され、[illegible]つて税制改正の方向も、これを目標として進むものと思はれる

本島に於ける計畫產業【上】
臺灣總督府事務官　佐野治夫

第一次生產力擴充計畫設定

良く米穀二大產業を以て其の產業構成の根幹として來た臺灣が工業的に新しい發足を始めたのは日滿支を通ずる第一次生產力擴充計畫が定められその一環として臺灣にも生產力擴充計畫產業の誕生を見るに至つてから以後のことでそれが極めて最近の事に屬する事は言ふ迄もない、勿論臺灣工業化の問題が取上げられ之が具體化に必要なる諸方策が樹立された時はかなり以前に遡ることが出來樣に豐富なる電源と相俟つて立派なる臺灣の工業化の前途を嘱目せしめるに十分なるものであつた、この點は既に於て日月潭の完成は[illegible]に手を染められたことは臺灣工業化の[illegible]も大きく、[illegible]を[illegible]いたものとして注目せられたところであつた、かうして臺灣の工業化は臺灣が[illegible]國家の[illegible]たるべきこと及び本島の[illegible]の[illegible]と[illegible]せて[illegible]の[illegible]を[illegible]るべき[illegible]と[illegible]して定められたのである、併しこの計畫は當初的な[illegible]と[illegible]して[illegible]上は決して[illegible]たる[illegible]を[illegible]されたものではなく[illegible]たる[illegible]としては[illegible]多くの[illegible]を[illegible]したものであつて[illegible]ろ[illegible]的なる[illegible]と[illegible]び付く必要があつたことが[illegible]であつたと思はれる、この[illegible]的な[illegible]が生產力擴充計畫に外ならない、生產力擴充と言ふことは[illegible]前後から[illegible]に唱へられたのであるが之は[illegible]上[illegible]上[illegible]も重要なる[illegible]に[illegible]てその生產力を[illegible]して[illegible]に國民[illegible]の[illegible]を[illegible]し[illegible]を[illegible]以て[illegible]た[illegible]的な[illegible]的[illegible]から[illegible]されて來たものであつた、それは第一次歐洲大戰の[illegible]と共に[illegible]ける[illegible]的[illegible]の[illegible]を主眼とするものである、[illegible]、[illegible]方面から[illegible]生產力擴充五ケ年計畫[illegible]なるものは生產力擴充に[illegible]する[illegible]に[illegible]する[illegible]の一[illegible]として[illegible]めて[illegible]たる[illegible]を[illegible]つものであつた、其の[illegible]の[illegible]段と生產力擴充の[illegible]向は一層[illegible]の必要を[illegible]切のものたらしめ此の間に[illegible]の研究と[illegible]が進められて昭和十四年一月第一次生產力擴充計畫の設定を見るに至つた次第である、之は[illegible]、石炭、[illegible]金屬、非鐵金屬、石油及其の代用品、ソーダ及工業鹽、硫安、パルプ、金、工作機械、鐵道車輛、自動車、羊毛、船舶、電力の諸產業に[illegible]し昭和十三年度より同十六年度の四年間の生產目標を定めて之が實現を企圖したものである、そうして第一次生產力擴充計畫の遂行する間に國土計畫の[illegible]が大きく取上げられるに至つた事は注目せられなければならない、[illegible]國土計畫は[illegible]の國力と[illegible]を[illegible]、[illegible]を主眼とするものである、[illegible]に[illegible]それは第一次歐洲大戰の[illegible]と共[illegible]、文化、人口、[illegible]等々凡ゆる方面に[illegible]る國土の綜合的なる[illegible]計畫に外ならず[illegible]的なる[illegible]を[illegible]し國土の[illegible]的部分的なる[illegible]の[illegible]と全[illegible]的なる有機的[illegible]に於ける[illegible]國家の[illegible]を[illegible]らんとするに[illegible]く[illegible]して國土に[illegible]ける[illegible]的[illegible]的[illegible]を[illegible]

（一）國土計畫基本方針に基き

（二）日本民族の[illegible]

[illegible]、[illegible]、工業、[illegible]、交通、金融、[illegible]及貿易の各基本方策が定められた、之は[illegible]の日滿支[illegible]の[illegible]の更に擴張せられたるものである、國土計畫は現在では之等の[illegible]、[illegible]に基き文化、人口、[illegible]地域の[illegible]に[illegible]しては大東亞[illegible]の進展に伴つて[illegible]されたる大東亞[illegible]の[illegible]を[illegible]とするに至つて居る、今日に至つて居るが大東亞[illegible]に[illegible]を[illegible]定[illegible]する[illegible]となつて[illegible]る[illegible]の[illegible]に[illegible]し[illegible]各[illegible]の[illegible]後は[illegible]の[illegible]と國内[illegible]に[illegible]ら[illegible]ゐ[illegible]本計畫は一[illegible]中[illegible]の形となり[illegible]大東亞[illegible]の[illegible]となつた[illegible]であるが時恰も[illegible]第一次生產力擴充計畫の[illegible]に着手せられたのであり[illegible]て第一次生產力擴充計畫は昭和十六年度を以て終り[illegible]いで第二次生產力擴充計畫は昭和十六年[illegible]する[illegible]を有するものであつた[illegible]、昭和十六年[illegible]せられたる[illegible]的[illegible]にとつては一つの大きな[illegible]的[illegible]を[illegible]するものであつた[illegible]

（3）重化學工業の飛躍的增强

（4）主要食糧の充實確保

（5）海運力の强化

を目標とすると共に一貫して[illegible]的見地を重視しつつ大凡十五ケ年後を目標年度として目下[illegible]せられつつあるのであつて、各年度の生產力擴充計畫は[illegible]の[illegible]的必要を充足する如く[illegible]すると共に右の如き國土計畫的[illegible]に立脚した[illegible]的なる基本的見透しの上に之を[illegible]定[illegible]せられつつある事は言ふ迄もない、從つて生產力擴充計畫を中心とする各產業[illegible]と國土計畫とは一つのものを[illegible]へる[illegible]の如く相合してそこに[illegible]と[illegible]を[illegible]して[illegible]を[illegible]するものと言はなければならぬ、斯くして生產力擴充計畫の內容に盛られる產業の種類には其の後相當の[illegible]變化があり、且つ一の產業に[illegible]る[illegible]目の數も非常に增加して今日に於てはその數七十數品目に及ぶ状況である、そうして[illegible]の[illegible]そのものも其の[illegible]的[illegible]に[illegible]を[illegible]ずして[illegible]なる[illegible]の[illegible]のみに止まらず[illegible]生產[illegible]のものの[illegible]を[illegible]とし[illegible]に生產の實績を擧げ得る[illegible]な[illegible]のものは[illegible]として取上げられることとなり、[illegible]ての生產力擴充計畫は昭和十七年度[illegible]

現下臺灣の計畫的重點產業

[illegible]以來生產擴充計畫は[illegible]として之が設定を見ることとなつたが、之は[illegible]の[illegible]的[illegible]が[illegible]く前面に出て來たことを示すもので、前述の國土計畫的見透しを[illegible]常にその基本に[illegible]へたものであることは今更[illegible]までもない所である、第一次生產力擴充計畫の[illegible]以來[illegible]々追加[illegible]せられた[illegible]其今日の生產力擴充計畫[illegible]は[illegible]、石炭、[illegible]金屬、[illegible]、[illegible]、[illegible]、セメント、ソーダ、[illegible]、有機合成、工作機械、[illegible]、[illegible]、[illegible]、自動車、電力の十八[illegible]であり、各[illegible]の下に[illegible]として定められたるものは前述の如く七十數品目に上り之等の多くは[illegible]より[illegible]の[illegible]の[illegible]にも[illegible]成の遂行と國防[illegible]の維持[illegible]に必要不可缺のもののみである、[illegible]に於ても[illegible]に[illegible]る[illegible]なる[illegible]より[illegible]すべきものに[illegible]ては[illegible]に[illegible]を[illegible]げれば今日の[illegible]力[illegible]となる[illegible]は出來ないことは明かである、[illegible]昭和十八年度[illegible]生產擴充計畫に[illegible]て初めて此の[illegible]を[illegible]にし[illegible]、石炭[illegible]金[illegible]、[illegible]、[illegible]の五[illegible]（[illegible]）

[illegible]を以て生產[illegible]に主眼を[illegible]くべき[illegible]なる生產[illegible]の[illegible]に付て[illegible]も[illegible]ある生產[illegible]の[illegible]に[illegible]むべき[illegible]を增したのである、このことは[illegible]の[illegible]に[illegible]ては[illegible]大東亞戰爭の[illegible]擴大と[illegible]國[illegible]の反[illegible]く[illegible]となり[illegible]戰[illegible]の[illegible]を[illegible]するに至つたことが[illegible]戰[illegible]に於ける[illegible]及び[illegible]との[illegible]び付きを[illegible]且つ[illegible]化すること[illegible]に[illegible]つて[illegible]なる生[illegible]の[illegible]なる[illegible]を[illegible]一[illegible]的のものたらしめ[illegible]に至つたところから生[illegible]計畫を中心とする[illegible]的[illegible]が[illegible]的に[illegible]し來つたと共に[illegible]に[illegible]する作戰の[illegible]と[illegible]の決定的[illegible]を[illegible]すべき[illegible]の[illegible]を重要なる原則として[illegible]に至らしめたことを[illegible]すものであつて、其の後に[illegible]せられた[illegible]的なる[illegible]の[illegible]を[illegible]する[illegible]の[illegible]に[illegible]めて[illegible]戰力化[illegible]られて[illegible]ることは[illegible]めて[illegible]であるが、[illegible]生產力の[illegible]たるべき[illegible]を[illegible]つて[illegible]の[illegible]生產の[illegible]を[illegible]らし[illegible]生產力化を[illegible]とする[illegible]なる[illegible]、[illegible]力化を目的とする[illegible]の[illegible]せられ[illegible]

しめるものは唯一つ航空兵器の[illegible]なる充實[illegible]に[illegible]しめて[illegible]るものと言はなければならぬ、斯くして昭和十九年度國家[illegible]に於ては航空[illegible]力の飛躍的增强を中心とする國[illegible]の[illegible]的[illegible]化を[illegible]行する方針を明かにしたのである、昭和十九年度[illegible]は[illegible]に[illegible]の方針の下に目下中央に於て決定せられつつあるのであるが、その[illegible]たるべき生產擴充計畫に就て言へば[illegible]、石炭、[illegible]金[illegible]、[illegible]、[illegible]、[illegible]の[illegible]と共に[illegible]に對する各種[illegible]作[illegible]の[illegible]を[illegible]とし[illegible]を中心として[illegible]なる[illegible]を[illegible]へられつつあるのである、[illegible]へつつ臺灣に於ける生產擴充計畫に就て言へば[illegible]に[illegible]せられる[illegible]の[illegible]は[illegible]に[illegible]と臺灣の[illegible]十九年度[illegible]を[illegible]の[illegible]が[illegible]に[illegible]し[illegible]に[illegible]

ル無水合水）化學肥料（石灰窒素、過燐酸石灰）、セメントソーダ（苛性ソーダ）[illegible]合成（合成ブタノール）電力（水力火力）の諸產業である、そうして昭和十八年度[illegible]に於て最も重要なるものは[illegible]、[illegible]、[illegible]金[illegible]、[illegible]の[illegible]産業である、昭和十九年度に於ては[illegible]と[illegible]はないが[illegible]十八年度と大差はないが[illegible]戰力化を[illegible]んとする[illegible]も入[illegible]の飛躍的增强、[illegible]に[illegible]する[illegible]の[illegible]、[illegible]金[illegible]力に主力を注ぐと共に[illegible]の[illegible]に努むべきこととなつてゐる、今[illegible]に[illegible]て生產擴充計畫[illegible]の[illegible]を[illegible]、[illegible]の[illegible]を[illegible]ては臺灣は[illegible]、工業[illegible]、パルプを[illegible]したけれども[illegible]の[illegible]として[illegible]は十分その[illegible]を果し[illegible]に[illegible]業[illegible]に付ては[illegible]的[illegible]も[illegible]的[illegible]を占め[illegible]も[illegible]期[illegible]ふものとして相[illegible]の期待を[illegible]られたものである、アルコールに[illegible]ては[illegible]と石炭は[illegible]内[illegible]を[illegible]の[illegible]を充足したる[illegible]力を以て[illegible]ては内地[illegible]及[illegible]方面へ[illegible]出を[illegible]し[illegible]南方地域へ[illegible]を[illegible]大[illegible]せんとしつつあると共に[illegible]の[illegible]なる[illegible]

を要請せられつつあるものである、セメントは[illegible]く[illegible]內の自給を[illegible]ひ[illegible]の充足を[illegible]り[illegible]其他[illegible]の[illegible]に[illegible]じ[illegible]に化[illegible]の[illegible]に[illegible]ては[illegible]ての[illegible]本位の[illegible]に[illegible]工[illegible]の[illegible]を[illegible]なかつたことが[illegible]に[illegible]ぜられる位のもので今後とも此の方面への努力を一層[illegible]つてはならぬことは明かである、臺灣の生產[illegible]計畫[illegible]に於て[illegible]も重要なる地位を占めるものは言ふ迄もなく[illegible]金[illegible]、[illegible]、[illegible]の[illegible]力である、[illegible]金[illegible]及[illegible]に就ては其の地理的[illegible]的[illegible]と國土計畫的[illegible]より見て臺灣として最も重[illegible]を[illegible]くべきものなること言ふ[illegible]もない、[illegible]に就ては先きの金[illegible]に代り[illegible]として日本的なる不足[illegible]の[illegible]に[illegible]も大きく寄與しつつあるものである、最後に[illegible]力は[illegible]を工業化[illegible]化する[illegible]も重要なる[illegible]となるものであつて[illegible]生產[illegible]計畫[illegible]の遂行と共に[illegible]來[illegible]々其の[illegible]を[illegible]なければならないのは今[illegible]ここに[illegible]ふ[illegible]もないところである、[illegible]以上の如き[illegible]の[illegible]生產[illegible]に[illegible]ては[illegible]力に[illegible]するに[illegible]ては[illegible]の[illegible]に[illegible]へてゐ[illegible]く[illegible]が有すると[illegible]的[illegible]を十分に[illegible]して[illegible]かなければならぬ

モダン日本改題

新太陽

三月號・四十錢

座談會

空襲必至とその對策を語る

防衛總司令部　陸軍中尉　川原中尉

防空總本部　富永事務官

陸軍航空本部　原中尉

〃　宮地事務官

帝大教授　尾崎喜八

詩人　宮崎澄夫

傑作小説　エンコピヤの久さん　火野葦平

若き空　村上元三

防空手帳　辰野九紫

女工員の小糸　[illegible]

◇世界情報特種集

防空必勝の要諦……防衛總司令部參謀陸軍大佐　加藤義秀

敵空襲下に十二ケ月……陸軍報道班員　長井壽助

情報探知器……松井翠聲

疎開談義　鶴と文　近藤日出造

かくして米大陸へ……横山隆一

アメリカよ、かくして行くべし……佐藤八郎

メセ・通信……石川達介・杉浦幸雄

◇國內指導標

彈道を潛りて

ドイツの陸軍防空戰記　Ｐ・ディーツ

◇電波官制……下村海南

◇産業戰士の作品集

◇其他グラビヤ好讀物滿載

決戰の推移

對談　海軍少將　櫻井忠溫

陸軍中佐　澤畑養三郎

東京市麴町區内幸町一ノ二　振替東京一五七七二

新太陽社發行

はたらく姿より美しいものはありません。

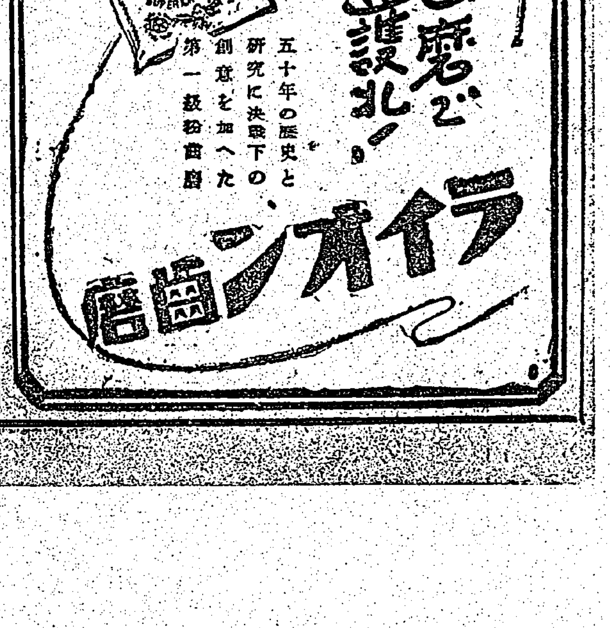
お肌の爲に　パピリオクレーム

ビタミンB劑　オリザニン

消化酵素　タカヂアスターゼ

三共　純良薬品

東京市日本橋區室町　三共株式會社



良い歯磨で歯を護れ！

五十年の歴史と研究に決戰下の創意を加へた第一級粉歯磨

ライオン歯磨

學校教職員に福音
結核療養費 全額支給の道開く

臺灣教員互助會全國に魁く

明日の日本を背負ふ第二國民の教育に任ずる教員は全島で一萬四千餘名を算へてゐるが、これら教職員は晝間には本島の教授に、夜間は青年學校、國語講習所の指導など[illegible]一般本島民[illegible]の重大な使命を果さなければならないので[illegible]結核その他病氣に罹れるものが多く、これら罹病者に對しては既に政府共濟組合で治療代を補助し[illegible]ところ今回[illegible]教職員一萬四千餘名の互助機關たる社團法人[illegible]互助會では會員たる教職員にして結核その他[illegible]に罹病せるものに對し同會の『[illegible]支給規程』により[illegible]政府共濟組合給付の[illegible]療養補給金、[illegible]補給金を支給することに去る十八日の同理事會で決定した

これによると療養補給金は共濟組合給付金の二割五分即ち政府から給付されるものと合すれば療養費は全額を受けることが出來るわけである、その上に療養費一日に一圓の補給があり更に退職又は休職の場合には補給として二百圓以内を支給することとなるので、教職員は安心して[illegible]一生を捧げ得られるわけである

西村文教局長談

教職員に對する療養[illegible]支給決定につき西村文教局長は左記の如く語る

今回教職員の互助機關である[illegible]互助會の手に依り結核療養者に對する療養補給金の支給が行はれることとなり十八日の理事會で決定を見た

此の制度に依れば療養費は政府共濟組合給付金と合し十割となり[illegible]支給を受くるものであり他に[illegible]補給金及療養補給金が支給せらるることとなつて居り久しく念願して居た制度が茲に實現を見たことは御同慶に堪へない

學校職員の[illegible]は夙に[illegible]として取り上げられながら其の[illegible]のと種々の理由に依つて何時も取殘され勝ちであつたが[illegible]

決戰下[illegible]教職員諸君[illegible]安心して職務に奉公の誠を致し得る[illegible]

前線へ一機も多く
ヨイコ・お小遣ひを獻翼

[illegible]前線將士は"一機でも多く"と血を吐く叫びを上げて我が銃後の來援を待ち佗びてゐる、この前線の兵隊さんに送る飛行機を作るお金の足しに僕たちもお小遣を獻金しませうと臺北市[illegible]國民學校のヨイコドモたちは次の手紙に六百九十二圓十四錢を添へ十七日軍司令部に獻金した、また[illegible]國民學校二十九學級[illegible]生一同も百十七圓を獻金した

ラバウルの決戰を聞く度に、一機でも多くと言はれる言葉を聞く度に私達も何とかしたい、どうしたら前線に飛行機を送ることが出來るだらうと何時も思つてゐました、三月十日陸軍記念日の日、[illegible]には「作れ、送れ、翼を」といふ標語がはつてありました、そして先生が前線に飛行機を送る爲の獻金をしたい人は自分の御小遣ひの中から持つて來なさいと言はれたので私達はおどり上つて喜びました、三圓の人も[illegible]四圓の人も中にはずゐぶんたくさんの人もゐました、けれども私達はこのお金は[illegible]

心のこもつてゐるお金だと思ひます、このお金で出來た飛行機は憎いアメリカの飛行機をどんどんおとして呉れることを信じてゐます

海軍武官府の獻金受付時間 臺北[illegible]武官府獻金係ではこの度獻金受付の時間を毎日午前九時より午後二時までと定めました、獻納の皆さんもこの時間内にお出掛け下さるやうにと望んでゐる

須田農商局長歸北

須田農商局長は六日間に亙つて東部地方の一期作作付状況並に土地改良工事を視察、[illegible]官民を激勵し、[illegible]十八日午後六時三十三分歸北した

[illegible]十八日午後一時二分臺北驛發急行にて[illegible]午後四時四十九分[illegible]歸北の豫定である、[illegible]隨員は主席[illegible]安住祕書官、大本營[illegible]柴山社寺課長、[illegible]西村文教局長が[illegible]として隨行することに決定した

兵隊さん早く治つて下さい
ヨイコが慰問

臺北陸軍病院、[illegible]分院、〇〇分院などにいま二[illegible]心[illegible]の日に備へて療病と戰ふ白衣の勇士を慰め勵しませうと新竹[illegible]國民學校のヨイコドモたちが手縫の造花七十點と作品百八十點を獻納したのを初め[illegible]國民學校のコドモ部隊は[illegible]四十三個、[illegible]百七[illegible]を贈りどうぞ兵隊さん全快して下さいと申出れば臺北[illegible]女學校の乙女達は[illegible]に、作業に[illegible]日[illegible]臺北大正町分會では[illegible]三百個[illegible]四十個、花束四十束を贈るなど勇士を慰める人の群は連日絶えない

海原へ希望は躍る
▽……ビルマ海員養成所……▽

ランダーン市郊外〇〇湖のほとり海への憧れと希望に滿ちた若き[illegible]を眞白き制服に包んで一日も速く海の第一線にたらんと日夜激しい猛訓練に明け暮れるビルマ海員養成所では赤銅色に輝くはち切れんばかりの若者達が入所以來[illegible]なる[illegible]の下に[illegible]訓練に[illegible]に精勵を傾け盡してゐる、かくて一ケ年の後には[illegible]の操縦技術を修得し更に實地の乘船訓練を經てやがて立派な[illegible]の驍者が巣立つて行く【寫眞は（上）オール持つ手に希望は[illegible]今日は[illegible]しいボート訓練（下）汽船の[illegible]を圍んで生徒達は各部の機能名[illegible]を覺える】

必勝へ進學を獻納
集立つヨイコは生產戰へ

島都で壯行會

[illegible]な皇國は小國民の効き腕にひしひしと強く響いてゐる、少年飛行兵、[illegible]兵、[illegible]兵、[illegible]へ……あの[illegible]な小國民の[illegible]振りは多く頭の下るものがある、そして[illegible]人にならなくても[illegible]を[illegible]決戰の重要[illegible]部門に直ちに飛び込んで[illegible]となり……

"僕たちの手で飛行機を、彈丸を、軍艦を作り前線に送つて[illegible]るのだ"

と今春[illegible]各國民學校を巣立つた小國民でこの決戰の[illegible]部門に赴くものは實に〇〇名の多數に上つてゐる、彼等は平時の如き自由主義的進學の夢を一擲し、[illegible]決戰[illegible]の[illegible]決せて[illegible]勝ち抜く戰力增強の部門に赴かんとするのだ、なんといぢらしい[illegible]であらう

これら[illegible]の輝く門出を祝福すべく臺北市では十八日午後一時から市公會堂大講堂で[illegible]關係者並に[illegible]各國民學校長及[illegible]代表者等多數列席の下に盛大な壯行會を催した

[illegible]

長谷市長 壯行の辭 本日茲に[illegible]〇〇[illegible]生諸君の壯行會を[illegible]

[illegible]

【寫眞は[illegible]公會堂の壯行會】

增産へ寸土も活かせ
總督さん蔬菜作りにお手本

決戰非常措置要綱が決定され、都市と言はず農村と言はず空地と言ふ空地は一坪でも利用し蔬菜や甘藷、豆類等の食糧作物から軍需、[illegible]作物を作ることになつたが、これが決まるといち早く我が總督[illegible]一家の家長、長谷川總督の官邸では庭園の芝生が掘り返されて畑と化る、空地利用の[illegible]が出來上つたが[illegible]

時局認識は上々
皇奉臺北州支部 內湖庄で座談會

[illegible]

豫科士官學校へ
本島關係は全員合格

この決戰下前線將士に續き輝く皇軍の幹部として起たうと希望に燃えて勇躍上京した陸軍豫科士官學校入校豫定者本島關係四十名は陸軍記念日の三月十日、[illegible]同校に合格、いよいよ[illegible]として巣立つ日に備へて[illegible]にいそしんでゐる

長谷川總督 嘉義市視察日程

長谷川總督は國幣小社に列格の嘉義神社奉告祭に勅使として參向、[illegible]

知事さん晴れの應召

【奈良電】奈良縣知事[illegible]氏はこの程應召した、同氏は[illegible]だが知事の應召は全國で最初である

陸軍關係學校 志願者へ注意

陸軍豫科士官學校、同經理學校、同幼年學校など皇國陸軍のこの決戰に我も赤誠の幹部として活躍しようと全島の青少年たちは連日のやうに軍兵務部、兵事部に志願書類を提出してゐるが締切日が迫つても手續に不備の點があり申込を躊躇してゐる向があるので兵務部では遠慮なく問合せて來るやう希望してゐる、なほ內地より戸籍謄本が明日までに到着しないときには現住地の戸口抄本を代用し期日に遲れぬやう要望してゐる

勅使 長谷川總督御差遣
嘉義神社 國幣小社列格奉告祭

嘉義神社の國幣小社列格奉告祭は既報の如く二十八日午前十時から嚴かに行はれるが同奉告祭に勅使として長谷川總督を御差遣あらせられる旨宮內大臣より總督府宛に入電があつた、長谷川總督は右奉告祭に參向すべく二十七日午前九時二十五分臺北驛發急行にて南下するが、また總督府よりは高等官を代表して文教局長が同祭典に參列する、勅使長谷川總督は隨員として安住祕書官、柴山社寺課長を隨へ[illegible]

女子勤勞動員を促進強化
挺身隊結成に強力命令
女子挺身隊制度强化方策要綱決る

【東京電】男子の職場配置と共に女子の生產戰場への動員は[illegible]的生產增强の要請にとつて[illegible]喫緊事であり政府は[illegible]決戰非常措置要綱に基き女子挺身隊の[illegible]女子勤勞動員の[illegible]を圖るべく[illegible]十八日の閣議に

一、女子挺身隊制度强化方策要綱を附議、これを決定、同日午後二時情報局より發表した

情報局發表 女子挺身隊制度强化方策要綱

第一、方針 女子の勤勞動員を促進强化するため女子挺身隊の組織を强化し[illegible]の强化を圖るものとす

第二、要領

一、女子挺身隊の結成

（一）學校長、女子青年團長、婦人會長等の推薦する學校又は地域の團體[illegible]として女子挺身隊を[illegible]

[illegible]

一、女子挺身隊の運營

（一）挺身隊として從事せしむる工場、事業場は[illegible]

[illegible]

府縣單位に運營
狙ひは女子の戰鬪配置

一問一答

【東京電】女子挺身隊制度の强化と共に[illegible]

問 挺身隊の狙ひは

答 男子が足りないからその缺員を埋めるために動員するのではない、一般[illegible]

問 挺身隊に[illegible]女子青年團[illegible]十二歲から四十歲までの[illegible]女子を動員するのか

答 [illegible]

問 挺身隊にはどういふ人がなるか

答 [illegible]

問 どんな職場に行くのか

答 原則として[illegible]

問 [illegible]

答 [illegible]

問 理由もないのに[illegible]

答 [illegible]

內地だより

京大學生工場進駐

【京都電】京大工學部では[illegible]

學校の整理を斷行

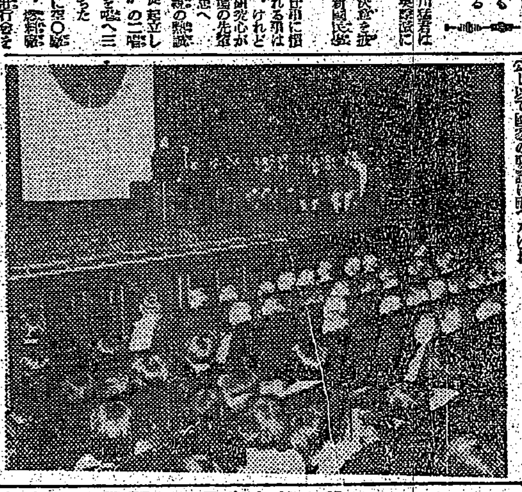
【[illegible]】[illegible]

農山漁村への宣傳
宣傳協力委員會で協議

[illegible]

中央實踐 協力會議
五月上旬開く

[illegible]



臺灣協會臨時總會

【東京電】[illegible]十八日午後二時より[illegible]

陸軍倉庫軍屬募集

[illegible]

(1) [illegible] 年齡 二十歲―三五歲 月收 一二〇圓內外（外に家族手當あり）

(2) [illegible] 年齡 二五歲―四〇歲 月收 一〇〇圓內外（外に家族手當あり）

(3) [illegible] 女子 年齡 二十二歲―三五歲 月收 九〇圓內外

[illegible]

今日の映画

大世界　台劇　新世界　芳乃館　芳明館　城南映劇　萬華劇場　太平館　第三世界

基隆・蘭陽地區

中央劇場　基隆世界　旭劇場　大和劇場　羅東座　宜蘭座　昇平座

新竹の映画

新竹劇場　有樂館

國際館　基隆劇場

[illegible]

講習生募集

入所資格　講習科目

小波女子學術講習會

公認小波女子學術講習所

[illegible]

會葬御禮

奥 常吉

[illegible] 中壢街役場

行旅死亡人公告

[illegible]

明るい名刺

精美堂

[illegible]

公告

大日本航空株式會社

女子給仕人募集

[illegible]

生徒募集

私立臺北中學校

一、第一學年　約二百名

願書受付　四月二日締切

考查科目　[illegible]

考查場　本校ニテ

考查期日　四月四、五、六、七日

臺北市外士林街電話士林一二三七番

株金拂込公告

[illegible]

臺灣パルプ工業株式會社

謹告

今般決戰非常措置として『カフエー』を廢業し女給なしの大衆的喫茶飲食店として厚生致す事と相成候間何卒御利用被下度伏して御願申上候　敬具

臺北　元カフエー組合　南和洋料理業組合

顧客樣各位

各病院、醫院ニ急告

日糖興業製品純性酵母劑

バンドマン

◇醫療用粉末五〇〇瓦入發賣

◇藥用トシテ最適品

價格金二、八一〇

元捌賣島內　臺北 南門藥局

御挨拶

今般總督府御當局ノ御下命ニ依リ下名等ハ臺灣洋紙配給株式會社ニ統合シ來ル三月末日ヲ以テ從來ノ島內ニ於ケル洋紙販賣ニ關スル業務一切ヲ擧ゲテ同社ニ引繼ギ茲ニ同業務ヲ廢業致候ニ就テハ多年ニ亙ル御引立御懇情ヲ拜謝致候ト共ニ何卒新配給會社ニ對シテハ今後一層ノ御支援ヲ賜リ度懇願候

先ハ右不取敢以紙上御挨拶申上度如斯御座候　敬具

昭和十九年三月十九日

臺北市 臺王洋紙株式會社

同 通益洋紙店

同 臺灣日日新報社

同 同成商會

同 青木小四郎商店

同 盛進商事株式會社

同 小川紙商店

臺南市 益勝商行

同 震順記洋紙店

同 瀨竹居洋紙店

同 臺灣日日新報社支局

同 文開堂紙店

同 臺灣洋紙配給組合

拜啓陳者弊社儀這般總督府御當局ノ御指示ニ依リ臺灣ニ於ケル洋紙ノ一元的配給ノ目的ヲ以テ豫テ設立準備中ノ處二月一日ヲ以テ無滯創立總會ヲ終了致其後業務開始ニ關スル諸般ノ準備モ完了仕候就テハ決戰下國家ノ要請ニ即應シ洋紙ノ適正配給ニ邁進スル決心ニ御座候間何卒今後一層ノ御支援ト御指導ヲ賜リ度奉懇願候

先ハ右不取敢以紙上御挨拶申上度如斯御座候　敬具

昭和十九年三月十九日

本社　臺北市大和町一丁目一番地

臺灣洋紙配給株式會社

取締役社長　長谷理致

常務取締役　田中儀一郎

常務取締役　渡邊忠孝

取締役　杉村桂二

取締役　逢坂增治郎

監査役　本田喜市

支配人　吉光貼七

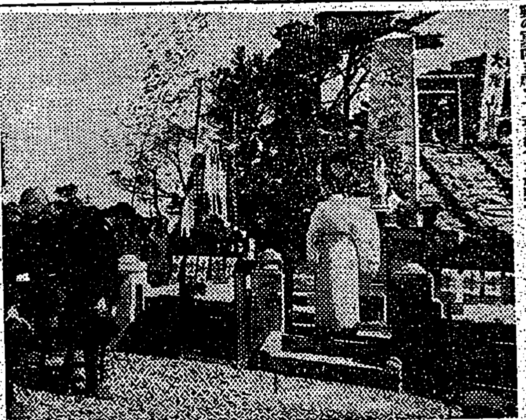
今ぞ輝く義勇隊の忠烈

大武山頂に忠魂碑

【高雄】烈々たる高砂義勇隊の敢闘精神を後世に傳へ、南溟の戰線に千古不滅の偉勲をたてて散華した高雄州下の高砂義勇隊員の英靈を合祀し永久にその勲功を景仰せんとする忠魂碑は百萬州民の熱烈なる奉仕作業と山の同胞の献身的なる奉仕作業によつて聖峰大武山頂に嚴然として聳えたつた

その日の除幕式は第一回義勇隊結成記念日の意義深い十五日嚴粛に執行されたのである、雲海の中に毅然として聳ゆる雄峰大武山頂上、はるか西南の決戰場を睨んで殉國の英靈が知り給ふのだ、山上の松籟は荒れ狂ふ南溟の波の音を思はせ感慨一入なるものがある

輝く偉勲に更に榮光を加へた長谷川總督の題字、高原知事の碑文、英靈以つて瞑すべきであらう、此の日知事代理齋藤警務部長は祭典委員長として臨場し、[illegible]理事官、州民代表前府職、理事官、東郡長代理小澤警部補始め三條理事課長、三浦潮州、男澤屏東兩課長等關係官並に遺族、從軍會員等三百餘名參列の下に式は午前十一時山下潮州神社社司により祓修され、次いで遺族の乙女によつて靜かに除幕された、山下社司の祭文奏上の後、齋藤知事代理の式辭、高府警の祝辭あつて後、一同玉串を捧げて英靈の冥福を祈つて式を終へたが感激にむせぶ遺族、戰友の英靈の前に立つて無言の從軍會員、何れの目にも英靈に續かんとする固き決意の色がありありと見えた



【寫眞は除幕式】

われら忠魂に續かん

【高雄】高砂義勇隊の勇猛果敢なる戰歴よりと赫々たる武勲は畏くも上聞に達し、遺族を始め山の同胞の感激は其の極に達して愈々一死奉公を誓つてゐる秋、十五日の大武山頂の忠魂碑除幕式に參列した從軍會員が懐しい第一回の義勇隊長小野府隊長並に屏東、枝元中隊長に再會して共に忠魂碑を圍んで英靈を前に座談會を開いた、英靈の前に仇は必ず取つてやるぞと固く誓ひ合つて最後に横山部隊長より贈られた高砂義勇隊の歌を合唱して下山したが、次は忠魂碑を仰ぎ見つつ感激に目をうるませて語る小野前隊長始め會員の言葉と横山部隊長作の高砂義勇隊の歌である

父祖も見よ滅敵の決意

感激新た遺族・從軍會員

小野壽夫君 私は忠魂碑の前に立つた時實に感激に堪へない感情に打たれたのです、不思議にも式の間涙が流れてどうすることも出來なかつた、今私の頭の中は生々しい戰場が去來してゐるのです、よくやつてくれた、皆は立派な働きをしてくれました、此の英靈に報ひる道は唯一つ、後に續く者の指揮であります、きつとお前たちの仇は取つてやるぞと今英靈に誓つたのであります、特に高雄州の義勇隊員は抜群の勲功をたてました、そして畏くも上聞にまで達したのであります、ここに居る枝元君は特に感慨深いものがあると思ひます、私は頂上まで可愛い部下の英靈が眠つてゐるのだと思つて無理の中でやつて來たのです、今ここに眠つてゐる者全部が忠魂を圍んでうんとやるぞと言ふ意氣に燃えてさかつてゐます

枝元源市君 本日除幕式に參列させて頂いて私としましては喉々感激無量で胸がつまる思ひです、總督閣下より題字を、知事閣下よりも碑文を頂いて頂きまして部下の英靈も感激にむせぶでせう、參列の遺族も從軍會員もどんなにうれしかつたかと思ひます、今後私としましては益々高砂族の皇民錬成を通じて部下の精神を昂揚させ、皇恩の萬分の一にも報ゆる覺悟であります

池澤武米君（潮州郡） 私は忠魂碑の前に立つた時頭が下りました、共に戰つた戰友が戰死した時の光景が再び出されて涙が出ました、戰友が死んだ時仇はきつとやつてやるぞと誓ひましたのに自分は生きてかへつて、ほんとうに申譯ないと思ひます、これからは英靈に恥しからぬ働きをして御奉公したいと思つてゐます

下山次郎君（潮州郡） この英靈のうちに私の分隊長が居ります、二人で死ぬ時は一緒だ、元氣でやらうと約束しましたのに分隊長は戰死をして私だけはおめおめ生きてかへりました、私は今、分隊長の忠魂の前で分隊長殿下山であります、あなたの手柄に負けないやうに銃後で一生懸命やります

と固く誓つたのであります

田中昭夫君（屏東郡） 大武山は私達の祖先が祀つてあるのだと聞かされてゐましたが、此の大武山に忠魂を合祀する忠魂碑が建立されることは嬉しく思ひます、きつと英靈は自分達の道を守つてくれると思つて居ります

桑田正夫君（恒春郡） 私は兄が第○回の義勇隊に出て行きましたが五、六箇月もたよりがありませんので戰死したものと思つて兄の仇を取つてやらうと私は早速第○回目に志願をしました、ところがはからずも戰地で兄に會ひました、そして二人共母が一人でさみしいだらうが立派な働きをたてて戰死をしようと誓ひ合ひましたが二人共元氣でかへつて來ました、忠魂碑が建立されるときいて兄と二人で毎日作業に出て來ました、今日も兄と一緒に參列しましたが色々思ひ出して涙が流れました、此の次の義勇隊の編成には兄弟二人共志願をする覺悟です

一同が感激にほほをぬらしつつ歌つた横山部隊長作詩の高砂義勇隊の歌

一、我が敵陣のあまつしまでの名も高き高砂のおのへ松、あをへ松の緑の義勇隊
二、旭光燦たる西、南興亞の鐘のひびく時赤心忠誠國死を決し勇み立ちたる義勇隊
三、波濤萬里海を越え敵陣砲壘山をよじコレヒドールの攻略に[illegible]名高し義勇隊
四、敵陣とさすニューギニヤ嶮々たる嶮峰「スタンレー」我が皇軍を援助して忠誠秀でし義勇隊
五、銃砲聲や爆彈の轟く中に[illegible]し肉迫薄身攻撃に、加はる決死の義勇隊
六、海山越えて幾千里義勇奉公たき日なき武勲を立てし一[illegible]の[illegible]も高し義勇隊

招魂祭

【屏東】大東亞戰爭完遂の途上護國の華と散つた屏東市並に屏東郡出身者故陸軍少尉浴田勝治氏外二十五名の英靈を祀る招魂祭は春季皇靈祭當日の二十一日午前十時より屏東公園内忠魂碑前において執行する

清水伍長以下五柱 二十七日屏東市葬

屏東高女で嚴修

【屏東】今次聖戰勃發するや身を以て一死報國の一員として征途につき赫々たる武勲を建てて戰鬪中名譽の戰死を遂げた屏東市内出身陸軍伍長清水五郎氏外四柱の英靈を弔ふ屏東市葬は來る二十七日午後三時より屏東高等女學校講堂に於て佛式により執行される

賞賜物件傳達式

【屏東】屏東市では十八日午前十時より市會議事堂に於て砂田市長、倉澤助役、各課長列席の下に左記八氏に對し賞賜物件傳達式を擧行した

田中春雄氏（若松町二ノ六九番地） 竈原次良一氏（千城町二ノ六七番地） 吳運顯氏（幸町三八七番地） 蔡朝七氏（公館二五六番地） 黃清達氏（幸町四五二番地） 許福成氏（公館三三〇番地） 陳朝欣氏（大宮町二ノ一五番地） 何英欣氏（消防組）

【潮州】高雄州潮州郡にては十六日午後一時より郡會議室に於て安野郡守代理賞賜物件傳達式を擧行、郡守より左の諸氏に傳達された、今回此の光榮に浴した勇士は支那事變勃發するや軍屬として上海、廣東方面に活躍し又は大東亞戰爭勃發するや通譯として赫々たる武勲を建てたものである

△潮州街 洪連清、蔡福全、湯安心、潘有榮、田北敏雄
△萬巒庄 林貴寶、徐爾添、劉吳傳、林立枉、黃松春、林玉金、林成香、林華德
△內埔庄 李福來、劉佳安、鍾道綸、黃立郎、陳瑞錦、李金鳳、劉彩動、李崇柱、吳錦香、楊仕祥、鍾興益
△竹田庄 林茂順、李鳳先、吳添金、李尚陽、張玉珍、徐冬振、黃森發、邱森財
△新埤庄 戴文深、潘鈍琦、潘國良、林登瑞、邱致郎、朱增陽
△枋寮庄 陳滿詩、潘秀照、林延平
△枋山庄 王維熊

陸軍大臣代理弔問

【臺中電話】陸軍大臣代理として有田臺北兵事部長は十七日午前十一時二十一分著列車にて來中、市内左記三勇士の遺族を訪問、懇ろに弔慰を爲した

故陸軍大尉 宮崎 清（千歳町）
故陸軍兵長 橋澤 榮一（木下町）
故陸軍一等兵 星川 濟（錦町）

高砂義勇隊員戰歿者

【潮州】鬼畜米英撃滅戰に勇名を天下に轟かせたあの高砂義勇隊員として南方戰線に奮戰、東亞建設史上に不滅の勲功を遂げて散華した潮州郡出身勇士の戰死並に戰病死公報があつた

◇戰死 大原利吉（スボン社）竹村義三（クワルス社）高岡六十一（ソウバウ社）
◇戰病死 木山幻二（ライ社）吉本正（ボタンロ社）森山氏、片山一郎（クワルス社）

田植競技會

【潮州】潮州郡竹部郡西庄では決戰食糧の増産確保及び田植技術向上の為め去る十五日午前十時より米穀增殖の田植競技會を郡林業部西田主任、佐藤驛西街長、保助役、各部落會長其の他多數臨場の下に開會、國民儀禮の後、二十五部落女子隊に對し正條密植、淺植、六本植、要項を說明し開始して午後五時過盛況裡に終了した、受賞者左の如し

△一等 店子岡一區△二等 上南片、店子岡二區、上厲坑、中福河、石岡△三等 茅子園、新城、操坑、湖肚、茅子埔、下南片

全島に誇る"竹細工の村"

國民貯蓄の實績は二百%

◇…竹細工の村・竹籠の村、竹ザルの村…全島のお臺所用品として親しまれてゐる外あの國防たまた陸軍力の增強を擔當して摘さた個々の家庭用品は、ひとり全島の家庭にのみではなく大東亞共榮圏內の友邦、あの白象の國タイ國にも、また北邊の護り絕としてゆるぎなき滿洲國にもどしどしと輸出されて"臺灣竹細工"の名を誇る生産地此處臺北州七星郡內湖庄を訪れた、年産六十萬圓、一つの機械も使用せずにただ慣れた手だけでまた大した勞力も必要とせず家庭工藝品としてこれだけの年産をあげうるだけでも大成功と言へるのにこれに附隨して昭和十八年度の國民貯蓄組合貯蓄二百二十五%、高額組合貯蓄百二十%の貯蓄をうち建ててゐるのである

◇…圓山から基隆河の流域を通り山手の方へ入つて行くと內湖庄に到着する、庄役場前で車を捨てて部落の中に入るとものの半丁と行かぬうちにもうザツ、ザツ、ザツ、パシ、パシと軒並に竹を割る音が聞こえて來る、そこには六十をとうに越したやうな老婆から嫁入り前の娘達が五、六人土間に陣取つて製作に餘念がない、片隅の方では直徑四、五尺もあらう大きなザルが見る見るうちに見事な手さばきによつて出來て行く、青々と澄るあの香の良い色をした竹ザルがまた一方の片隅にはうず高くつまれて居る、この一年、一秒の惜しさがつもりつもつて年產六十萬圓になりまた貯蓄功勞者として州より表彰をうける基であると思へば嬉いものがひしひしと感ぜられた

◇…內湖庄農業會に武原會長、安東副會長を訪れて竹細工の村の歷史を聽いた、それによればつい四、五年前からの話で、それまで臺北州の胡瓜の八十%を產出し、胡瓜の村として州下に誇つて居たのであつたが、昭和十三、四年頃より耕地統制が嚴しくなり水田に胡瓜を栽培する事が出來なくなつたのであつた、此結果年產十五萬圓の胡瓜の生産高は無くなり庄の財政が困窮になつたのであつた、この打開策として竹細工が登場したのであつた、各部落に竹細工の講習會が何回となく開かれ全庄あげて更生へ突進したのだつた、それから約五年、今では全庄約三千八百戸の中二千五百戸の家庭が大部分副業的に竹細工を生産して"臺灣竹細工の誇り"を大東亞共榮圏に放つてゐるのである、竹の栽培地としては現在庄內に蕃林の他竹の外どしどし大々的に竹山、竹林を主として栽培されてゐるが、現在では毎日の生産に追はれて栽培地の汐止、淡水、宜蘭方面より約四十%供給をうけてゐる狀態にあると

◇…竹細工品は臺北州竹細工品統制組合に一括納入されてここで等級を定められてから市場に出される譯であるが、最後に武原庄長さんの抱負を聽いたが"今では一人一日の收入が平均一圓二、三十錢にしかなりませんが、將來必ず年産百萬圓、二百萬圓にもあげて全庄あげて竹細工の製作に從事し"臺灣竹細工"を產出する內湖庄として恥しくないだけの働きをしたいと思つて居ります"と語つた

【寫眞は竹細工製作に專念する婦女子】

飛行機に赤心燃ゆ

一中號飛機獻納運動好績

【臺中】"作れ送れ飛行機"の決戰標語を具現して飛行機獻納を企圖快とせる臺中一中の一中號飛行機獻納運動は愈々實を結びつつあり、去る五日より十六日まで田中實行委員會長始め林教諭會長以下各委員によつて全島各地に居つて卒業生大會を開催協力方を要望した處各卒業生共母校の飛躍に絕大なる賛同を得短期間乍らも申込殺到、既に在校生父兄、卒業生三者一體となつた獻金額が七萬八千餘圓の巨額が集つてゐるが就中在校生林善鵬君（五年）張燦基君（一年）の兩父兄より各一千圓、目下南方戰線にて血戰を續けてゐる卒業生今井四郎君は五百圓を母親から夫々醵出した外幾多の愛國的至誠を現出した獻金美談が秘められ今一息で目標額を突破せんと意氣込んでゐる、右につき田中校長は卒子の赤誠溢るる協力に深く感謝しつつ次の如く語つた

實行委員諸君の協力の下に全島各地を行脚卒業生大會を開催したる處異議なく即時に獻金をする者もあり、その熱誠には感激せざるを得ない、今一息で目標額に達せんとして居る通知洩れ又は未獻納申込者は速かに申込まれる樣切望して止まない

念願叶つて見事合格

兒學鷲に續く三十三名

【臺中電話】兒學鷲に續いて敵米英擊滅に燃ゆる熱血溢る學徒選ばれ、中等學校二十一名、工業學校[illegible]名…「よくやつてくれた親も」……と親子を送るやうな和やかさと親知人相寄つて武運長久を祈るといふ銃後の美しい快感話が見られた

花蓮港から二十三名

【花蓮港電話】兒學鷲に續いて敵米英擊滅の熱血燃ゆる學徒選に乙種飛行豫科練習生の採用決定通知が花蓮港市並に郡在住の合格者に[illegible]名で十七日[illegible]より採用通知が交付されたがワシントン、ロンドン行の乗船切符「採用通知」を手にして學徒の顔は流石に喜びの色が漲くさやつと少年の念願がかなつた、後は猛訓練を受けてあの憎い敵の鼻を挫くのみです、勿論一刻でも早く大空の決戰に飛び立ちたいのですよと交々神國の念に燃ゆる決意を語つた

【花蓮港電話】「でかした」[illegible]

屏東中學より十一名

【屏東】敵米國が學徒操縦士を鍛出して神州不敗の帝國臣民航空部隊將兵に挑し戰ひを挑んで來たのだ、戰ひは正にこれからだ、銃後一億國民は直に一丸となつて航空戰の飛躍的擴充の生産陣に猛突撃を敢行しなければならない秋、大空に羽搏く海鷲の雛へ、大空に燃ゆるが如き希望を抱いて海軍甲種飛行豫科練習生を志願した屏東中學本年度卒業生の宮島良保、山越耕雄、松尾辰明、四年修了の下田修、引問嘉雄、川俣秀和、矢野正、宇田勉、早田敏則、山口紀和、三年修了の外山忍の十一君は見事に金的を射止めこの合格の通知に接したので一死報國の誠忠の燃ゆるが如き決意で入隊を待ちわびて居る

皇奉事務局長に小川氏

【臺中電話】皇奉臺中市支會では本公會の業務改革に依り[illegible]

お米・必勝增產へ

適地適品種の育成試驗

臺南州

【臺南電話】戰時下食糧增產の大宗をなす米穀の増産確保は戰局の苛烈化に伴ひ愈々緊要事として各種增產方策の實施を見、迅速なる增產の成果を擧げるべく官民一體の努力が續けられてゐるが臺南州では州下の作付地帯に最適すべき優良米種の迅速なる普及と稔穀の供與に依る米增產の强化を期するため十九年度より五ケ年計畫で米增產品種試驗を實施することとなつた、元來臺南州下の米作地は兩期作田、畑に互り然も單期田、輸作田には看天田、鹽分地帯、沿海地帶あり更に用水不安定なる地帯等多岐なる土壤を包含せる關係上少なからず[illegible]州當局では之等特殊地帯別優良品種並に合理的耕種法の改良策につき試驗研究を實施し[illegible]

印度ハレン草はいかが

【臺南電話】[illegible]「インド・ハレン草」[illegible]

臺灣の軍用犬 (三)

特別審查員 竹野 肇

幼犬牝組

◇良第一席 サクラ・フオム・ハウス・ヤスダ（申請中）（ファイヤ・フオン・ハウス・ニイタカ KZ2255 アムセル・フオム・ゲロスクイルド・バウム KZ1092） 生後十ケ月の好條件にて出陳、[illegible]を引いたダックス・フオン・ペルンの系統で血統の良い犬である、[illegible]良い牝犬である、前良傾向を有する中良無理の持つ犬であり、歩様も整然として運歩力あり前肢平尻が現在に付くが將來的に良い牝である

◇良第二席 ブルガ・フオン・南方莊（申請中）（テルゴス・フオン・ショウゲツン KZ3857 ブリダ・フオン・アアータ ランドリヒト KZ1705） 六ケ月餘くの牝、[illegible]がはつきりした蹄部のきびきびした歩行の良い犬である、膝關節はしつかりして良いが六ケ月の牝としては少し全體的にゆとりが欲しい、アルゴス、ブリーダの組合せで気になる、小さく纏まつた犬になりはしないか、飼育者の今後の飼育上の御注意に申添へて置く、背線後肢はしつかりしてまことに良い、總て歩様も整然と見えた

◇良第三席 アルナ・フオム・ハウス・ヨシトミ（申請中）（グンドベルト・フオム・ミッホランド、チェコ・フオム・カメラード） 九ケ月の牝、肢質の良いきれいな犬であるが九ケ月の犬としては今少し體にしまりが欲しい、[illegible]

◇良アンナ・フオム・ハウス・ヨシトミ（申請中）（グンドベルト・フオン・ミッホランド、チエコ・フオム・カメラード） 第三席犬と同胎[illegible]、門齒の咬合が三本逆咬合をなして居る、總て九ケ月の仔犬であり[illegible]

◇良ブルガ・フオン臺北市南國（申請中）[illegible] ドンナ・フオム・ハウス・フツキー KZ1113 六ケ月と一寸の[illegible]

成犬牝組

◇良第一席 マリー柏木氏 KZ3808（イルミン、アンザ）[illegible]

◇良第二席 アリス・フオン・[illegible] KZ4705（エヤッ・シロヤマ、テイタ）[illegible]

◇良第三席 アンニー國防莊 KZ4928（デゲエット・フオン・ゴウツホウ KZ1509、メガー・ハコザキ KZ4093）[illegible]

◇良第四席アンチラー國防莊 KZ4928（デグエット・フオム・ゴウツホウ KZ1509、メガー・ハコザキ KZ4093）[illegible]

◇良 アンニー（ナダロ・フオン、[illegible]）[illegible]

未資格犬牝組

◇良第一席 フミ・フオム・ハウス・クセ KZ4093[illegible]
◇トラウテ・フオン・メグロ KZ1993[illegible]
アトウキン・フオム・フクエイ ソウリ KZ2991[illegible]

ドウベルマン組

◇良 メリー・フオム・ハウス・クルベビーチ KZ4626（ボロ・フオム・ハウス・タカイシ、サンザ・フオム・オサシマ）[illegible]
◇アジア・フオム・ハウス・カイザン KZ4138[illegible]
◇アリマ・フオン・ハウス臺北吳[illegible]
◇良第三席 メリー・フオム（水[illegible]）[illegible]

倭水軍 104

村松梢風作
中一彌畫

夜襲（八）

「能島も今度は降參するだらう」
「さうとも、あれだけの船でだしぬけに夜襲をされては、能島だつて防げる道理はないよ」
「おまけに能島の大將は留守だといふ話ではないか」
「手勢を引き連れて毛利へ加勢に出掛けたのだ」
「敵の大將の留守を狙つて戰を仕掛けるとは、味方の大將も少し卑怯なやうな氣がするな」
「馬鹿を云へ、其處が戰の駆略だ」
[illegible]

ラジオ

◇九・〇〇 少國民の時間、少國民音樂會
◇〇・二〇 ハーモニカ合奏行進曲「征空萬里」「荒鷲」他
◇一・〇〇 海上輸送戰士慰問演奏
◇六・〇〇 少國民の時間、シンプン
◇六・三〇 朗讀、わだつみの聲
◇七・二〇 世界の戰局
◇七・四〇 軍國歌謠、輸送船行進歌他
◇九・〇〇 朗吟、詠日本刀他

第二放送
◇七・〇〇 [illegible]
◇七・二〇 [illegible]

パイロット 萬年筆 戰鬪

ゼオラ 特許實用 齒用藥 科學性

臺日案內
石堂 唐仁 支那 男子 男女 女子 女子 看護 洋裁 女ボーイ 筆製 內職 公用 土間 空部 探大 不用 賣電 更生 中古 洋裁 願書 洋裁 犬猫 レン 和音 産婆 調査 ラジオとレコード 引越 引越 斷食 のせ 古本 轉宅 農事 農業 [illegible]

蛔虫は國民の大敵です 必ず毎月マクノールをのみませう
虫下しにマクノール錠
そのんで 真の健康体になりませう

ポプラ印 インキと米糊
高級萬年筆 筆記用各種
高級文具 事務用 工業用各種
製造元 日本ポプラ株式會社
有島文具店
發賣元 近藤商會

健康報國
◎戰時だ働かう
冷症・神經痛・ロイマチス 各種皮膚病に温泉風呂に
ミネラール
臺北州賣藥製造工業組合

齒科道野醫院 道野次郎
齒科鎌田醫院 鎌田政志
齒科杉山醫院 杉山勇
木村內科醫院
齒科澤熊醫院 澤熊保吉
齒科澁谷醫院 澁谷孝雄

健康報國
◎總力擧げて戰力增強!
ワーミン芳香油
代理店 東京堂藥局